

## 第6章 港区民調査



## 第6章 港区民調査

### 第6章 港区民調査

#### (1) 調査概要

18歳以上の港区民5,000人（住民基本台帳に基づく無作為抽出）を対象に、郵送及びインターネット調査を実施し、直近1年間の旅行や港区内におけるお出かけ状況（回数、訪問スポット、消費額等）、旅行情報の入手経路、観光客の受入に対する意識等を調査した。

#### (2) 調査手法

##### ア 調査期間

令和7年9月18日～令和7年10月17日

##### イ 調査対象者

港区に住民登録している18歳以上の日本人及び外国人（令和7年8月8日時点）

##### ウ サンプル数の設定

1,000サンプル以上（全体の20%以上）

##### エ 対応言語

日本語、英語、中国語（簡体字及び繁体字）、ハングル

##### オ 回収数

1,510サンプル（回答率：30.2%）、郵送：886、WEB回答：624

##### カ 有効回答数

1,510サンプル（回答率：30.2%）、郵送：886、WEB回答：624

#### (3) 報告書の見方

- ・調査結果の構成比率は、小数点第2位を四捨五入したものを記入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答数が小さいもの（n=30未満）は、比率が上下しやすいため、表・グラフのみを参考として示すにとどめる。
- ・割合の表記は、以下のとおりとしている。

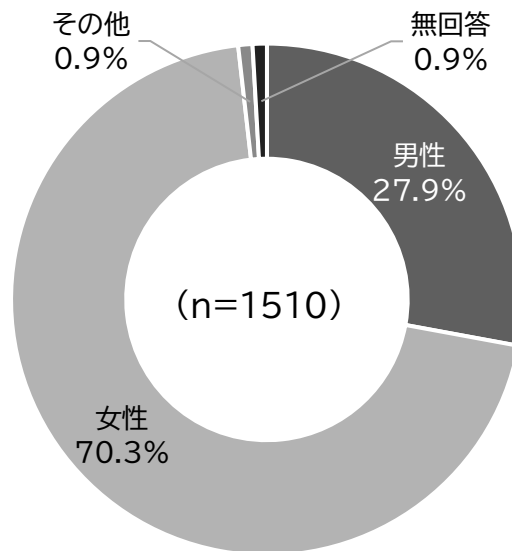
割合 (%)	表記
20.0～20.4	2割
20.5～20.9	約2割
21.0～23.9	2割を超える
24.0～26.4	2割半ば
26.5～28.9	3割近く
29.0～29.4	約3割
29.5～29.9	3割

(4) 回答者の属性

ア 性別

性別で見ると、「女性」(70.3%)が7割を超えている。

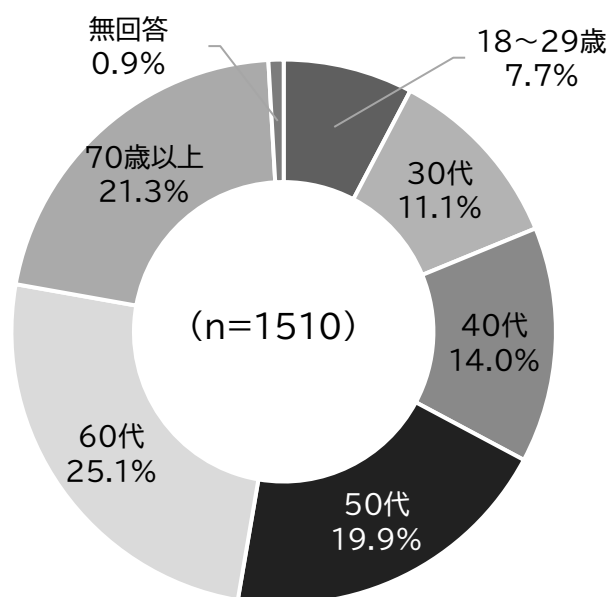
図6-1 対象者の性別



イ 年代

年代別で見ると、「60代」(25.1%)が最も高く、次いで「70歳以上」(21.3%)、「50代」(19.9%)と続いている。

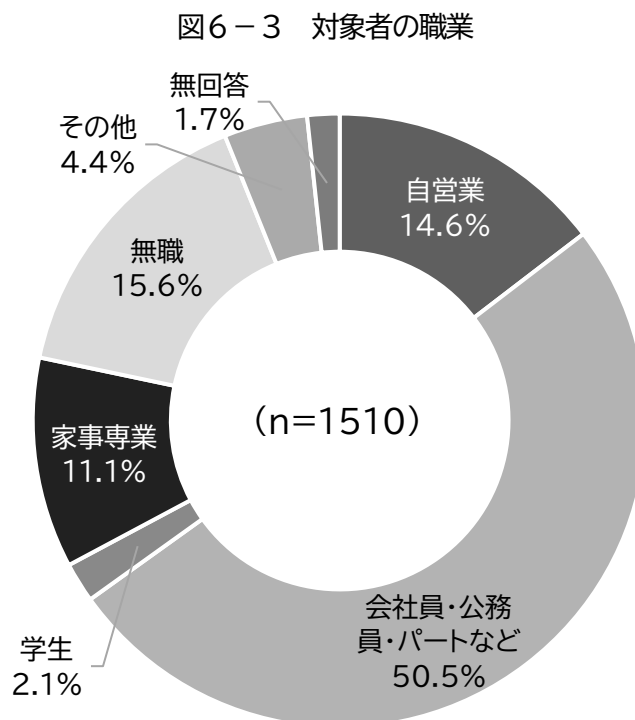
図6-2 対象者の年代



## 第6章 港区民調査

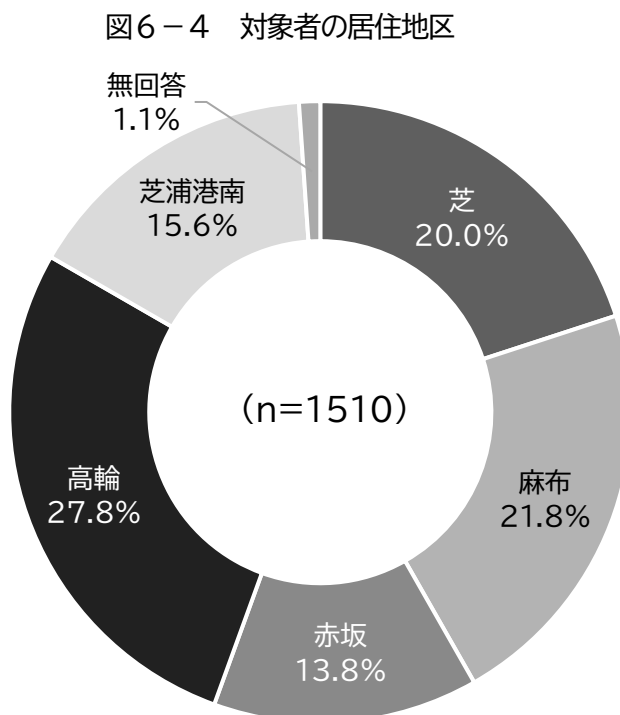
### ウ 職業

職業別でみると、「会社員・公務員・パートなど」(50.5%)が最も高く、次いで、「無職」(15.6%)、「自営業」(14.6%)と続いている。



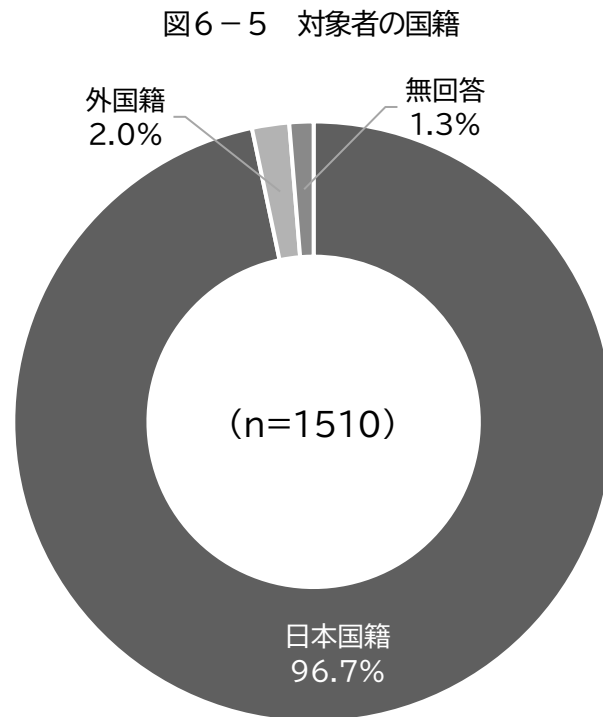
### エ お住まいの地区

地区別でみると、「高輪」(27.8%)が最も高く、次いで、「麻布」(21.8%)、「芝」(20.0%)と続いている。



才 国籍

国籍別でみると、「日本国籍」(96.7%)が9割半ばを超えている。



## 第6章 港区民調査

### (5) 調査結果

#### ア 国内旅行の経験について

問1 あなたは、過去1年以内（令和6年（2024年）9月～令和7年（2025年）8月）に、何回、国内旅行に行きましたか。旅行回数を旅行種類ごとに記入してください。

#### 【過去1年以内の国内旅行回数】

1年以内の国内旅行（日帰り旅行）は、「仕事（出張・業務等）」（平均1.2回）が最も多く、次いで、「レジャー（観光・レクリエーション等）」（平均0.9回）である。

国内旅行（宿泊旅行）は、「レジャー（観光・レクリエーション等）」（平均2.6回）が最も多く、次いで、「仕事（出張・業務等）」（平均1.3回）である。

観光庁「旅行・観光消費動向調査（令和6年）」によると、日本人の年間国内旅行回数は1人当たり平均約2.8回であり、宿泊旅行が約1.5回、日帰り旅行が約1.3回となっている。また、東京都「東京都観光客数等実態調査（令和6年）」によると、東京都民の国内旅行回数は年間平均約2.4回となっている。なお、本調査は回答者の自己申告による旅行回数であり、統計調査とは調査方法が異なる点に留意する必要がある。

図6-6 過去1年以内の国内日帰り旅行における平均回数

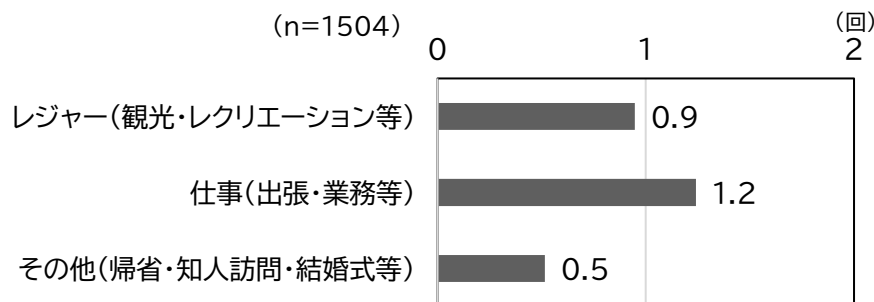
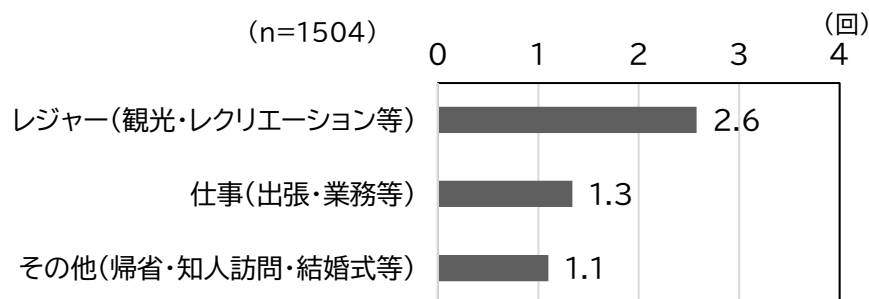


図6-7 過去1年以内の国内宿泊旅行における平均回数

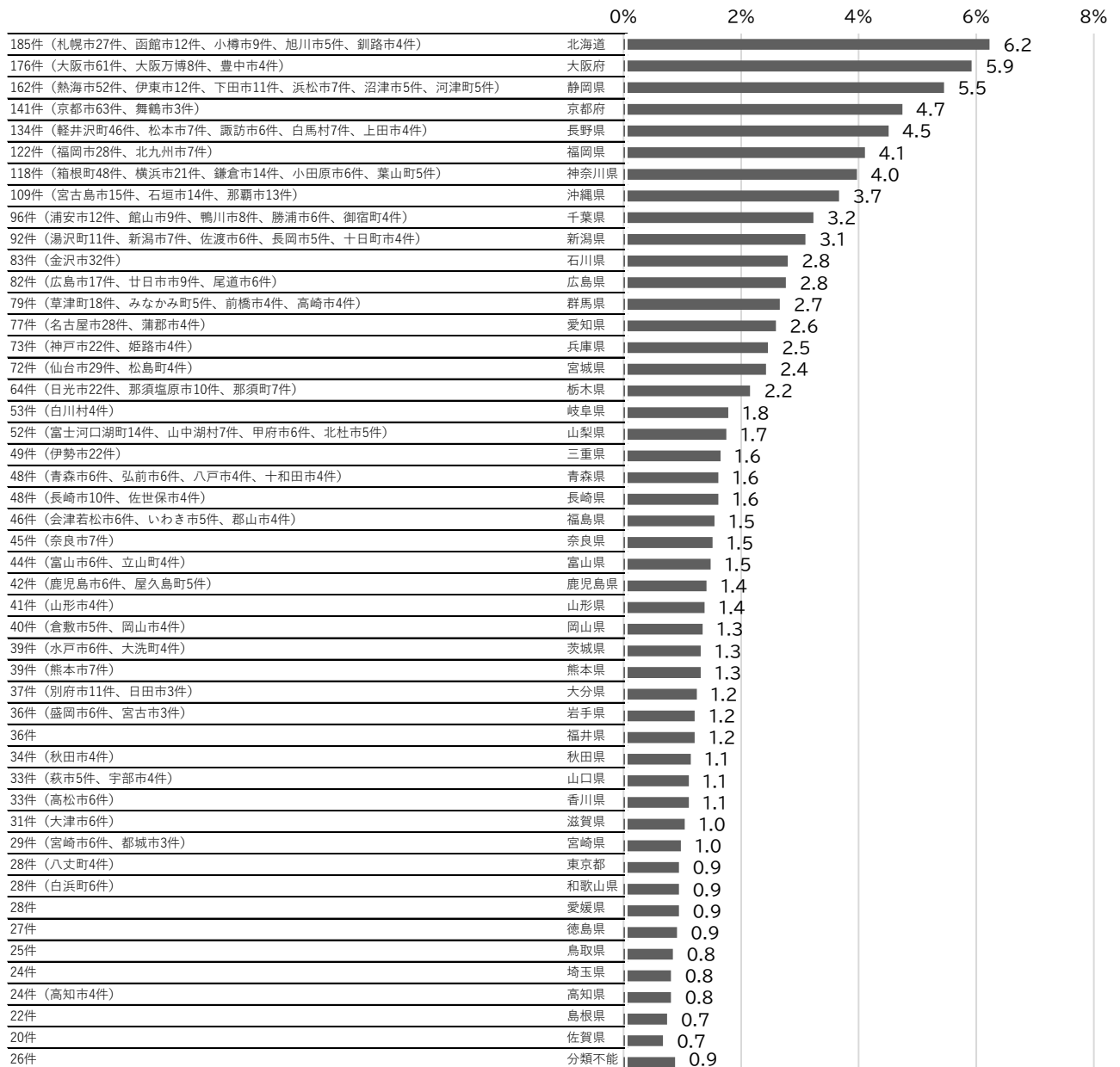


問2 過去1年以内の宿泊旅行の旅行先はどこですか。可能な限り複数ご記入ください。(自由記入)

【過去1年以内の国内旅行における旅行先】

「北海道」(6.2%)が最も高く、次いで、「大阪府」(5.9%)、「静岡県」(5.5%)と続いている。

図6-8 過去1年以内の国内旅行における旅行先



注1) 具体的な訪問先は回答数が3件以上の場合に掲載している。

注2) 「分類不能」は都道府県が特定できない回答(例: ホテル名、地方名等)が該当する。

## 第6章 港区民調査

### イ 区内でのお出かけ（観光目的）について

問3 あなたが余暇等を利用して、レジャー・レクリエーション・イベント・飲食等のお出かけを区内で行う頻度を教えてください。

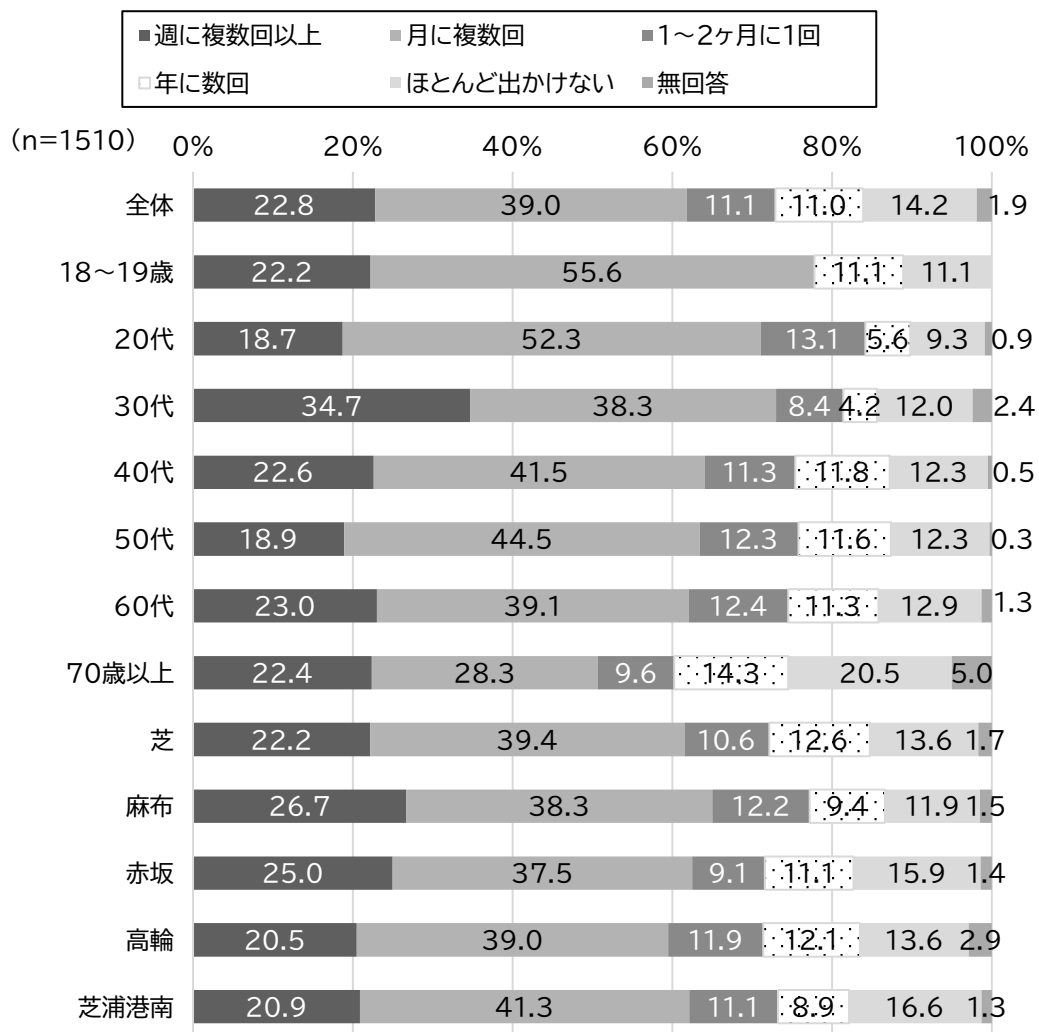
#### 【区内でのお出かけ頻度】

全体では、「月に複数回」（39.0%）が最も高く、次いで、「週に複数回以上」（22.8%）、「ほとんど出かけない」（14.2%）と続いている。

年代別で見ると、「週に複数回以上」は「30代」（34.7%）、「月に複数回」は「18～19歳」（55.6%）、「1～2ヶ月に1回」は「20代」（13.1%）、「年に数回」は「70歳以上」（14.3%）、「ほとんど出かけない」は「70歳以上」（20.5%）が最も高くなっている。

地区別で見ると、「週に複数回以上」は「麻布」（26.7%）、「月に複数回」は「芝浦港南」（41.3%）、「1～2ヶ月に1回」は「麻布」（12.2%）、「年に数回」は「芝」（12.6%）、「ほとんど出かけない」は無回答を除くと「芝浦港南」（16.6%）が最も高くなっている。

図6-9 区内へのお出かけ頻度



問4 あなたは過去1年以内に港区内で宿泊施設に宿泊したことがありますか。

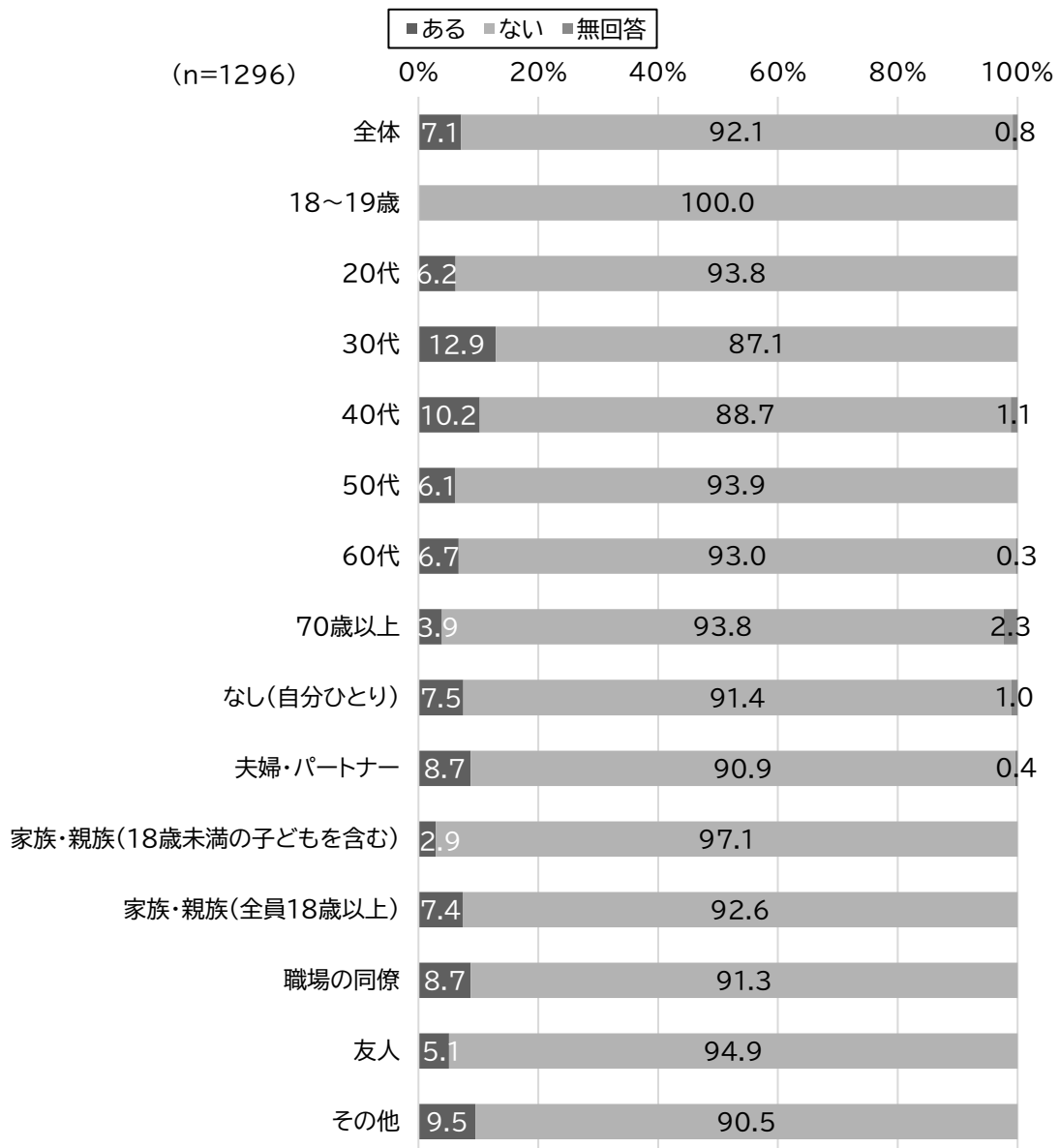
【過去1年以内の港区内での宿泊】

全体では、「ない」(92.1%)が9割を超えている。

年代別で見ると、「ある」は「30代」(12.9%)、「ない」は「18歳~19歳」(100%)が最も高くなっている。

同行者別で見ると、「ある」はその他を除くと「夫婦・パートナー」と「職場の同僚」(ともに8.7%)、「ない」は「家族・親族」(97.1%)が最も高くなっている。

図6-10 過去1年以内の港区内での宿泊



問5 問4で「ある」と答えた方にお聞きします。回数を教えてください。

【港区内での年間宿泊回数】

全体での平均は3.0回である。

年代別で見ると、「60代」(平均5.5回)が最も多い。

同行者別で見ると、その他を除くと「夫婦・パートナー」(平均3.7回)が最も多い。

図6-11 港区内での年間宿泊平均回数(年代別)

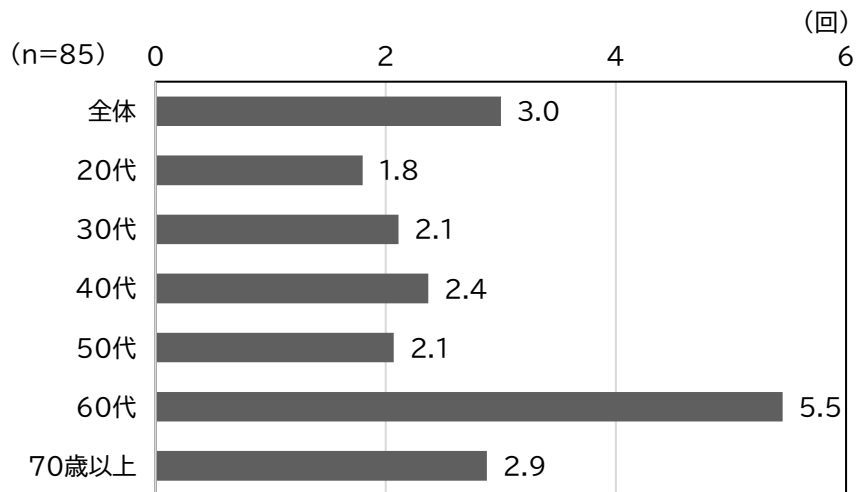
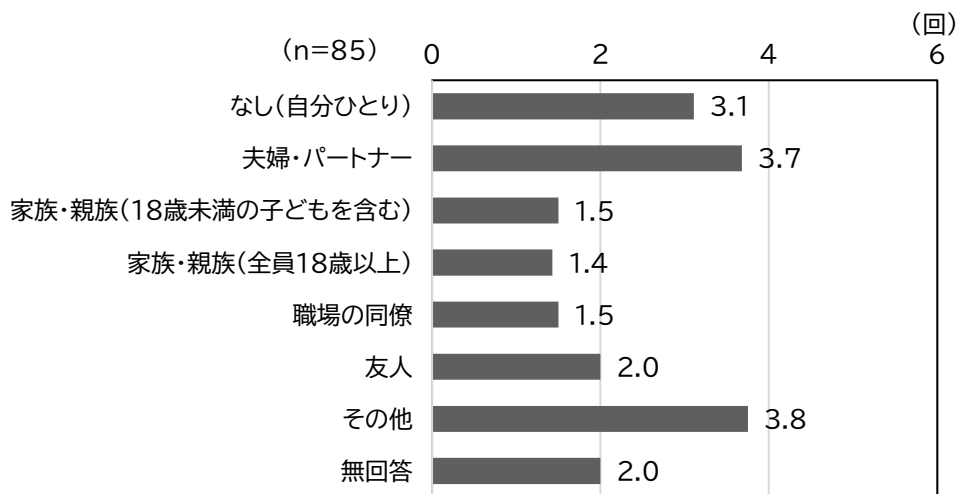


図6-12 港区内での年間宿泊平均回数(同行者別)



※以下、過去1年以内の港区内でのお出かけ（観光目的）について、直近（一番最近）のものについてお答えください。  
 問6 お出かけ時の同行者をお答えください。（最もあてはまるもの1つに○）

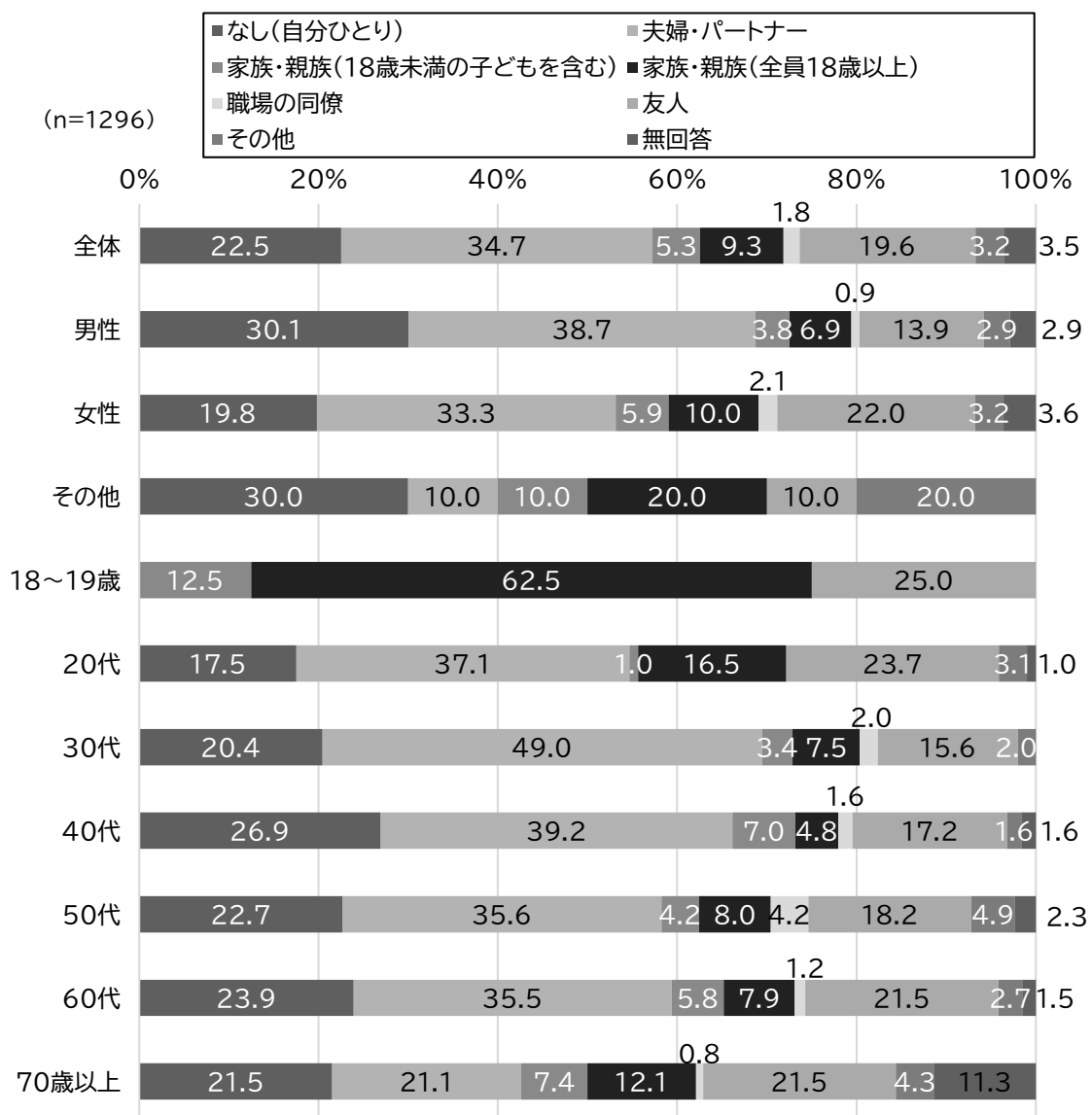
【お出かけ時の同行者】

全体では、「夫婦・パートナー」(34.7%)が最も高く、次いで、「なし(自分ひとり)」(22.5%)、「友人」(19.6%)と続いている。

性別で見ると、「夫婦・パートナー」は男性(38.7%)、女性(33.3%)で最も高くなっている。

年代別にみると、「夫婦・パートナー」は「30代」(49.0%)、「なし(自分ひとり)」は「40代」(26.9%)、「友人」は「18~19歳」(25.0%)が最も高くなっている。

図6-13 お出かけ時の同行者



## 第6章 港区民調査

問7 お出かけ時の主な目的をお答えください。(最もあてはまるもの1つに○)

### 【お出かけ時の主目的】

全体では、「飲食」(41.7%)が最も高く、次いで、「買い物」(15.0%)、「その他」(10.3%)と続いている。

年代別でみると、「飲食」は「30代」(51.7%)、「買い物」は「18～19歳」(25.0%)が最も高くなっている。

同行者別でみると、「飲食」は「職場の同僚」(73.9%)、「買い物」は「なし(自分ひとり)」(24.7%)が最も高くなっている。

地区別でみると、「飲食」は「芝」(44.8%)、「買い物」は「芝浦港南」(17.9%)が最も高くなっている。

表6-1 お出かけ時の主目的

	仏(文化財鑑賞・神宮社賞など)	館美術館・博物館	映画館・劇場	ズクテメ・アマパト施設	庭園	夜景・ライトアップ	買い物	飲食	展示会・博覧会への参加	行祭事・イベント見物	その他	無回答
(n=1296)												
全体	4.0	5.0	7.5	1.5	2.0	0.8	15.0	41.7	0.6	4.8	10.3	6.8
18～19歳	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0
20代	1.0	5.2	10.3	4.1	3.1	1.0	19.6	42.3	0.0	2.1	9.3	2.1
30代	3.4	2.7	6.8	2.0	2.7	0.7	13.6	51.7	1.4	8.2	4.8	2.0
40代	4.3	3.8	4.8	2.7	1.6	1.1	15.1	47.3	1.1	5.9	8.6	3.8
50代	3.4	3.8	7.6	1.9	0.8	0.4	18.2	41.7	1.1	4.5	11.4	5.3
60代	4.8	5.8	7.9	0.6	2.4	1.5	14.2	44.2	0.3	2.4	10.0	5.8
70歳以上	4.3	7.8	8.6	0.0	1.6	0.0	11.7	28.9	0.0	6.3	14.8	16.0
なし(自分ひとり)	6.8	5.8	11.0	1.7	2.7	2.1	24.7	22.6	1.4	5.8	10.6	4.8
夫婦・パートナー	4.0	4.7	8.9	1.1	1.8	0.9	13.1	49.6	0.4	4.4	7.6	3.6
家族・親族(18歳未満の子どもを含む)	2.9	0.0	5.8	5.8	1.4	0.0	10.1	37.7	1.4	11.6	15.9	7.2
家族・親族(全員18歳以上)	0.8	5.8	2.5	0.0	3.3	0.0	24.0	45.5	0.8	1.7	6.6	9.1
職場の同僚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	73.9	0.0	13.0	8.7	0.0
友人	3.1	7.5	7.1	2.0	2.0	0.0	8.3	54.7	0.0	3.1	7.9	4.3
その他	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	19.0	0.0	4.8	59.5	2.4
芝	3.8	3.8	3.4	0.8	1.9	0.0	14.9	44.8	0.8	5.7	12.6	7.3
麻布	3.4	4.8	12.4	1.4	1.0	0.7	12.8	38.6	1.0	5.5	10.3	7.9
赤坂	4.6	4.0	6.3	1.7	4.6	0.6	16.0	43.4	0.0	1.1	9.7	8.0
高輪	4.4	6.9	5.8	1.9	2.2	0.6	15.4	41.0	0.6	6.1	10.7	4.4
芝浦港南	3.6	4.6	10.2	1.5	0.0	2.6	17.9	42.3	0.5	3.1	6.6	7.1

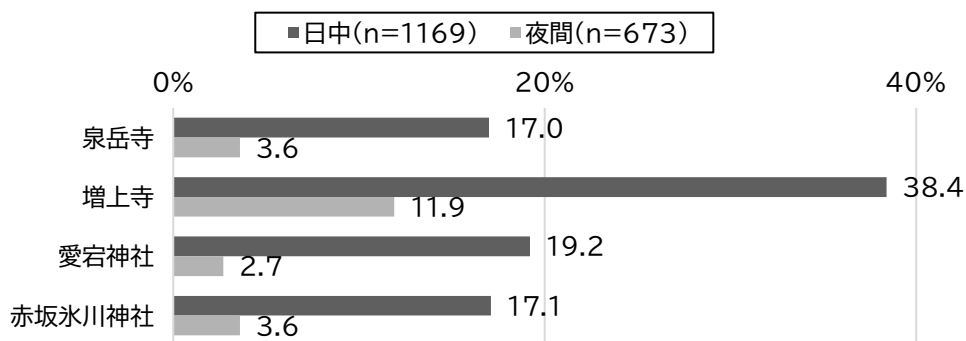
問8(1) 来訪時に訪れたスポットを時間帯(日中<午後6時まで>・夜間<午後6時以降>)別にそれぞれお答えください。(あてはまるもの全てに○)

【港区内の訪問スポット】

(神社・仏閣・史跡)

全体のうち日中では、「増上寺」(38.4%)が4割近くで最も高く、次いで、「愛宕神社」(19.2%)、「赤坂氷川神社」(17.1%)と続いている。夜間では、「増上寺」(11.9%)が最も高く、次いで、「泉岳寺」「赤坂氷川神社」(ともに3.6%)と続いている。

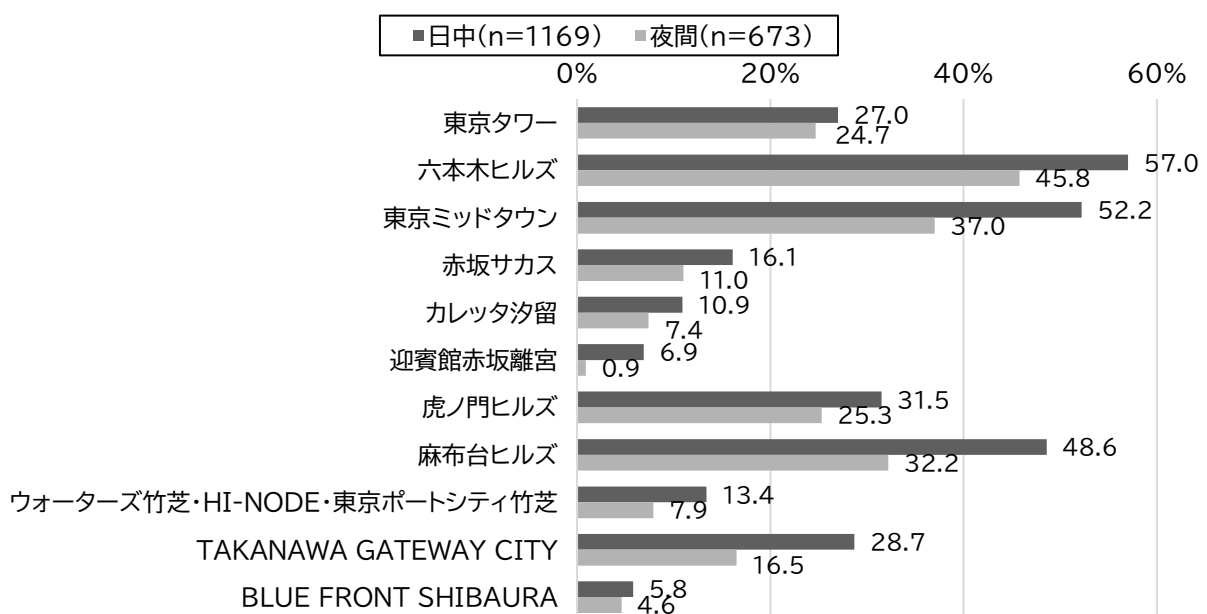
図6-14 訪問スポット(神社・仏閣・史跡)



(建物・商業施設)

全体のうち日中では、「六本木ヒルズ」(57.0%)が最も高く、次いで、「東京ミッドタウン」(52.2%)、「麻布台ヒルズ」(48.6%)と続いている。夜間では、「六本木ヒルズ」(45.8%)が最も高く、次いで、「東京ミッドタウン」(37.0%)、「麻布台ヒルズ」(32.2%)と続いている。

図6-15 訪問スポット(建物・商業施設)

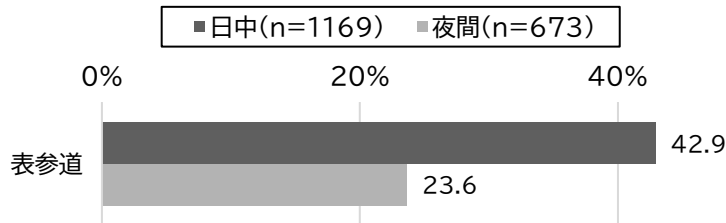


第6章 港区民調査

(商店街等)

日中の方が夜間に比べ高い。

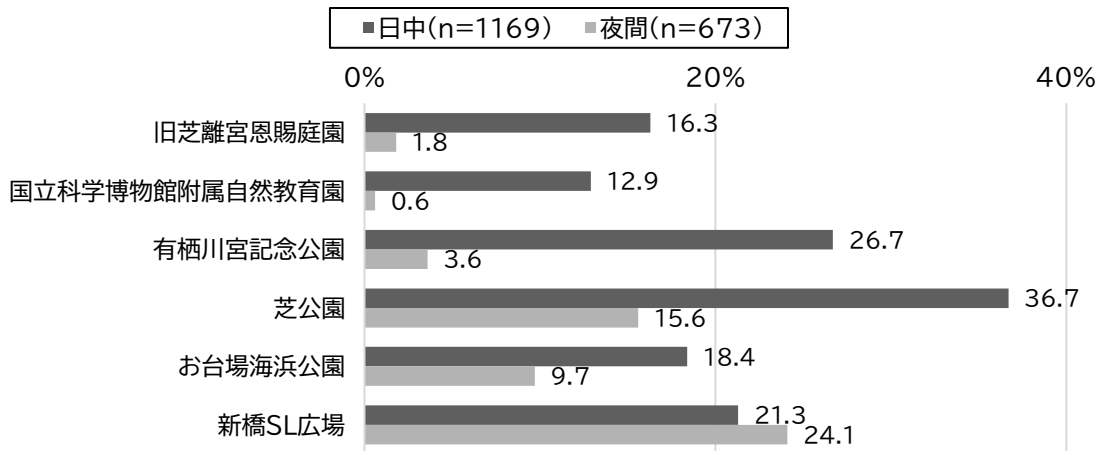
図6-16 訪問スポット (商店街等)



(公園・庭園・緑地等)

全体のうち日中では、「芝公園」(36.7%)で最も高く、次いで、「有栖川宮記念公園」(26.7%)、「新橋SL広場」(21.3%)と続いている。夜間では、「新橋SL広場」(24.1%)が最も高く、次いで、「芝公園」(15.6%)、「お台場海浜公園」(9.7%)と続いている。

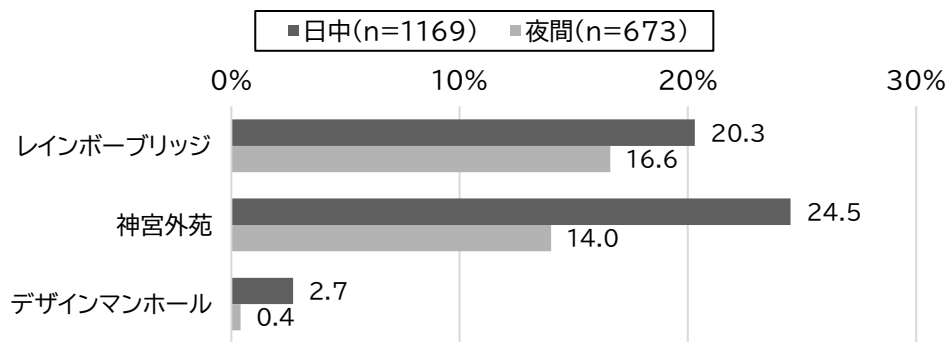
図6-17 訪問スポット (公園・庭園・緑地等)



(散歩道・景観スポット)

全体のうち日中では、「神宮外苑」(24.5%)が最も高く、次いで、「レインボーブリッジ」(20.3%)、「デザインマンホール」(2.7%)と続いている。夜間では、「レインボーブリッジ」(16.6%)が最も高く、次いで、「神宮外苑」(14.0%)、「デザインマンホール」(0.4%)と続いている。

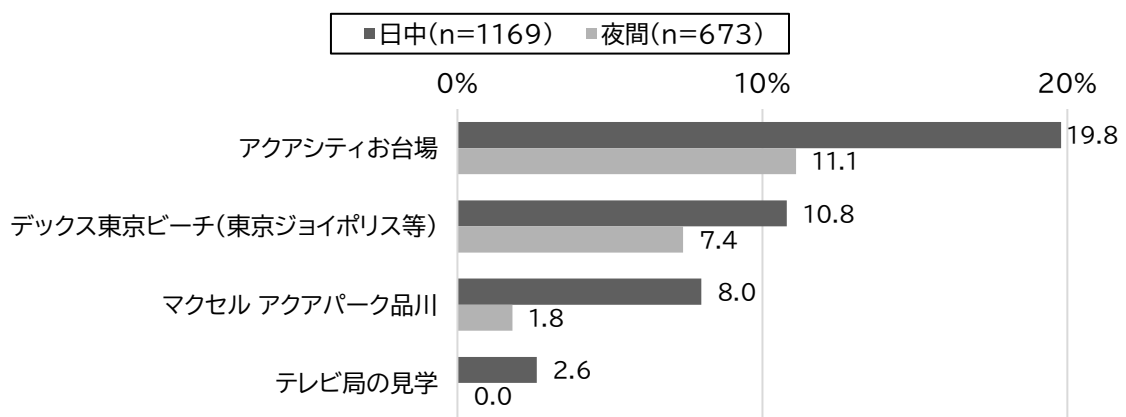
図6-18 訪問スポット (散歩道・景観スポット)



(映画館・劇場・アミューズメント施設)

全体のうち日中では、「アクアシティお台場」(19.8%)が最も高く、次いで、「デックス東京ビーチ(東京ジョイポリス等)」(10.8%)、「マクセル アクアパーク品川」(8.0%)と続いている。夜間では、「アクアシティお台場」(11.1%)が最も高く、次いで、「デックス東京ビーチ(東京ジョイポリス等)」(7.4%)、「マクセル アクアパーク品川」(1.8%)と続いている。夜間の「テレビ局の見学」の回答はなかった。

図6-19 訪問スポット (映画館・劇場・アミューズメント施設)

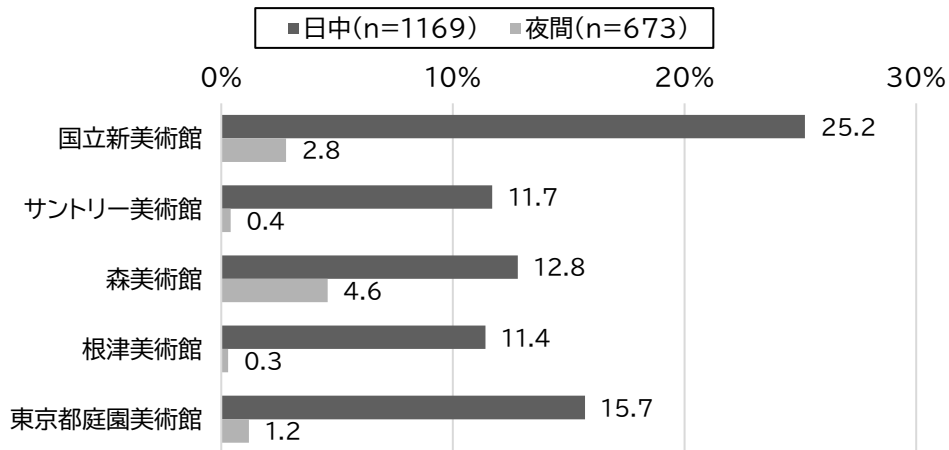


## 第6章 港区民調査

### (美術館・資料館)

全体のうち日中では、「国立新美術館」(25.2%)が最も高く、次いで、「東京都庭園美術館」(15.7%)、「森美術館」(12.8%)と続いている。夜間では、「森美術館」(4.6%)、「国立新美術館」(2.8%)、「東京都庭園美術館」(1.2%)と続いている。

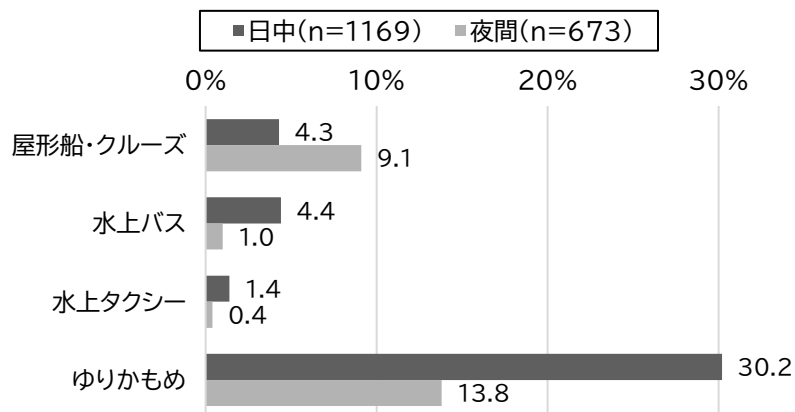
図6-20 訪問スポット (美術館・資料館)



### (乗り物)

全体のうち日中では、「ゆりかもめ」(30.2%)が最も高く、次いで、「水上バス」(4.4%)、「屋形船・クルーズ」(4.3%)と続いている。夜間では、「ゆりかもめ」(13.8%)が最も高く、次いで、「屋形船・クルーズ」(9.1%)、「水上バス」(1.0%)と続いている。

図6-21 訪問スポット (乗り物)



問8(2) 直近のお出かけについて、前の質問で挙げられていないスポットがありましたら、ご自由にご記入ください。

【港区内のスポット】

日中に訪れたスポットの自由記載欄の中では麻布十番（特に麻布十番商店街）が圧倒的に多くあげられており、最も利用頻度の高いエリアであった。次いで多かったのは、区内各所の神社・仏閣（芝大神宮、日枝神社、乃木神社、豊川稲荷東京別院など）であり、歴史的資源への来訪も目立った。また、映画館・劇場等のアミューズメント施設も非常に多く、特に TOHO シネマズ六本木ヒルズや六本木周辺のシネマ施設があげられている。さらに、商店街（白金・芝・三田・広尾など）や、公園・庭園（芝浦中央公園、檜町公園、毛利庭園など）、美術館・資料館（大倉集古館、松岡美術館等）も一定数見られた。

夜間に訪れたスポットとしては、麻布十番（特に麻布十番商店街）が突出して多く、日中に続き、夜間においても最も利用頻度の高いエリアであった。次いで多かったのは、映画館・劇場等のアミューズメント施設であり、特に TOHO シネマズ六本木ヒルズや六本木周辺のシネマ施設、T・ジョイ PRINCE 品川などが多くあげられている。また、六本木・西麻布・赤坂エリアや、虎ノ門ヒルズ、麻布台ヒルズなどの複合商業施設も一定数見られた。さらに、サントリーホールや BLUE NOTE TOKYO といった音楽・文化施設、ホテル（グランドプリンス高輪）、駅構内商業施設（品川駅・新橋駅周辺）、商店街（白金・芝・三田・広尾など）もあげられている。

問9 港区内での外出中の1回当たりの費用(消費額)をお答えください。(概ね千円単位)

【港区での観光消費額】

観光消費額全体の合計金額は26,027千円、平均金額は22,170円である。

用途別に全体の平均金額をみると、「宿泊費」(42,082円)が最も高く、次いで、「買い物」(12,331円)、「飲食費」(8,349円)となっている。

なお、港区民の観光消費を外国人旅行者、日本人旅行者の消費と比較すると、宿泊費はサンプルが少ないものの日本人旅行者(33,472円)を上回っている。宿泊費を除くすべての費目において、外国人旅行者、日本人旅行者の平均金額を下回っており、観光消費額全体の合計金額は、外国人旅行者120,610円、日本人旅行者66,275円に比べ低くなっている。

表6-2 港区での観光消費額

宿泊費		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		58	2,441	42,082
旅行形態別	日帰り	-	-	-
	宿泊	58	2,441	42,082

飲食費		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		1,075	8,975	8,349
旅行形態別	日帰り	1,004	8,111	8,079
	宿泊	68	853	12,544

施設入場料		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		392	1,009	2,575
旅行形態別	日帰り	363	920	2,534
	宿泊	28	88	3,136

買い物		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		674	8,311	12,331
旅行形態別	日帰り	630	7,533	11,956
	宿泊	42	766	18,227

交通費(港区内)		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		684	929	1,358
旅行形態別	日帰り	629	781	1,242
	宿泊	53	145	2,745

観光消費額計		サンプル数	合計金額(千円)	平均金額(円)
全体		1,174	26,027	22,170
性別	男性	306	6,438	21,038
	女性	853	19,312	22,641
年代別	18~29歳	96	2,068	21,543
	30代	138	3,687	26,719
	40代	170	3,802	22,362
	50代	241	5,419	22,485
	60代	308	6,998	22,722
	70歳以上	216	3,981	18,429
旅行形態別	日帰り	1,093	20,847	19,073
	宿泊	78	5,153	66,059

注) 各項目の平均値は「(平均金額) ± 3 × (標準偏差)」にて算出した金額を上回る特異値を除外したうえで、観光消費額を算出している。

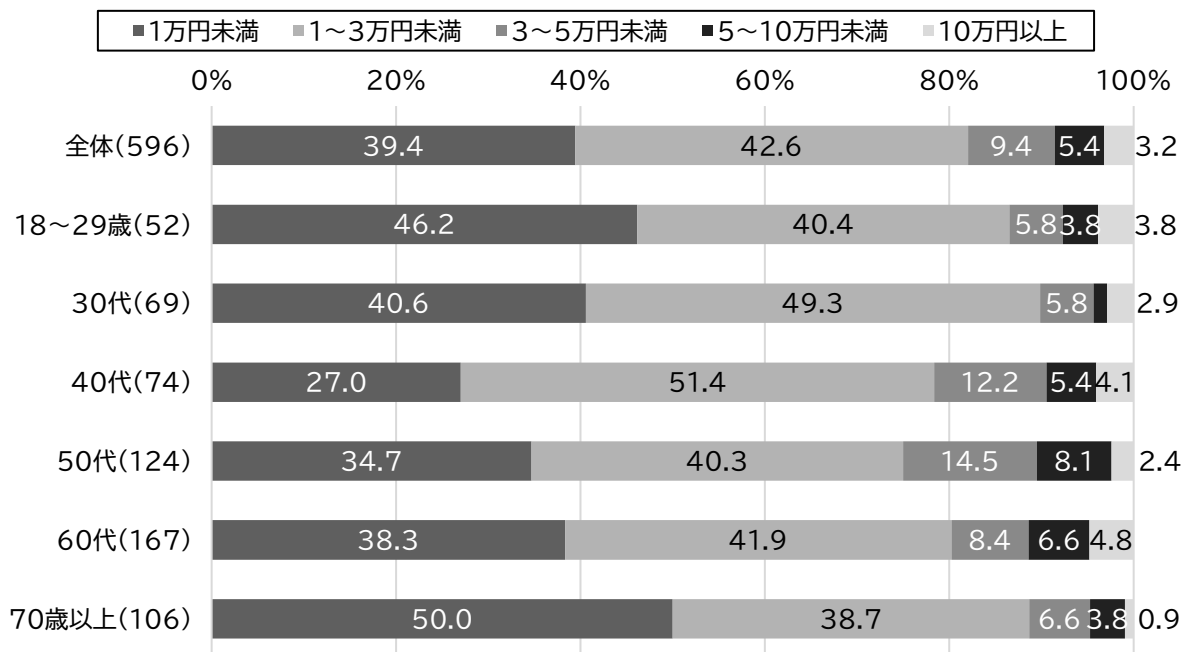
【観光消費額の分布】

(日帰り)

区民の1回あたりの外出における消費額の全体では、「1～3万円未満」(42.6%)が最も高く、次いで、「1万円未満」(39.4%)、「3～5万円未満」(9.4%)と続いている。

年代別でみると、「40代」は「1～3万円未満」(51.4%)が5割を超えている。「10万円以上」は「60代」(4.8%)が最も高くなっている。全体的にみて、3万円未満が8割前後を占めている。

図6-22 観光消費額と分布(日帰り、年代別)



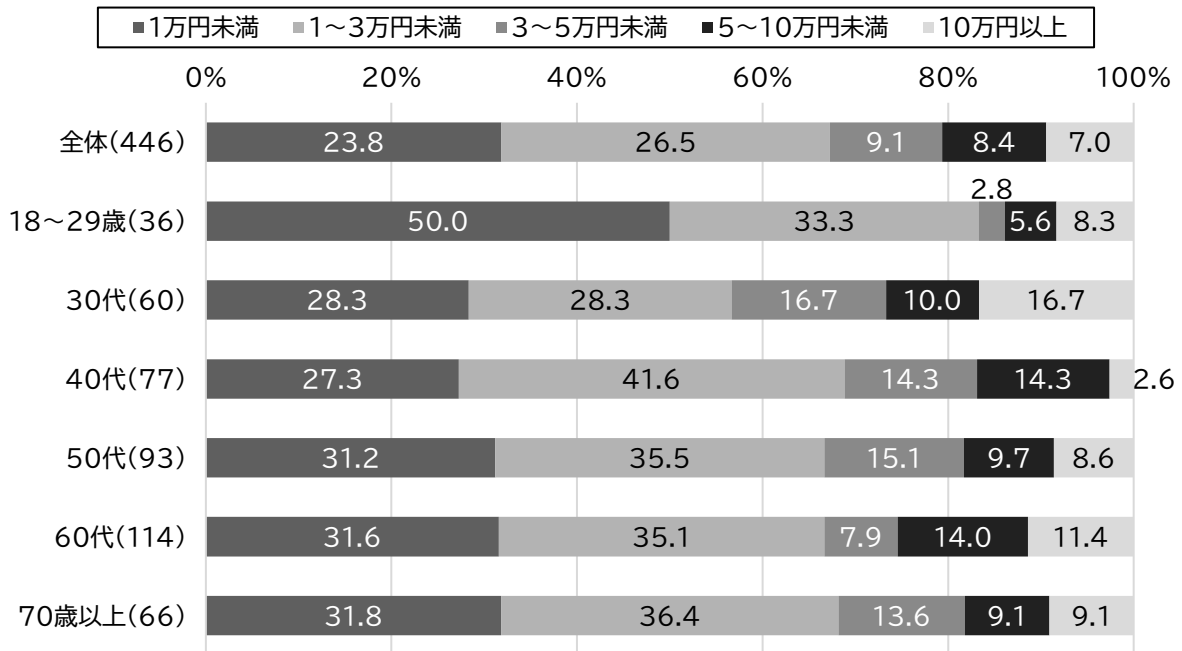
## 第6章 港区民調査

### (宿泊)

区民が区内で宿泊する際の全体では、「1～3万円未満」(26.5%)が最も高く、次いで、「1万円未満」(23.8%)、「3～5万円未満」(9.1%)と続いている。

年代別で見ると、「18～29歳」は「1万円未満」(50.0%)が半数を占めている。「10万円以上」は「30代」(16.7%)が最も高くなっている。全体的にみて、「10万円以上」が日帰りに比べ高い割合を示している。

図6-23 観光消費額と分布(宿泊、年代別)

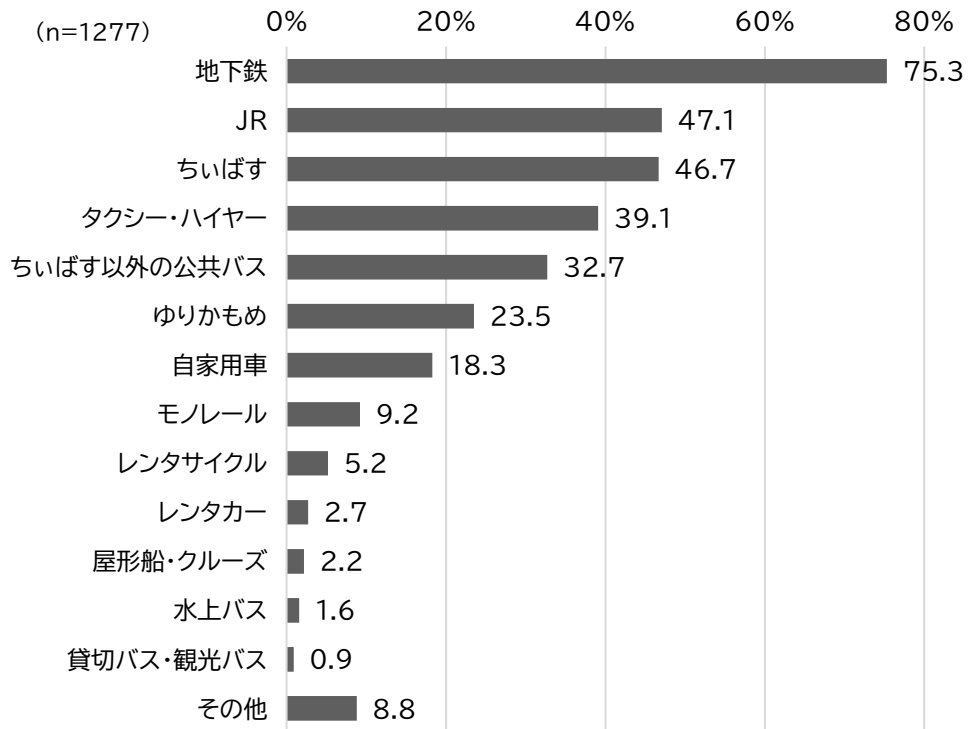


問10 港区内での外出に利用された交通機関をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

【港区で利用した交通機関】

全体では、「地下鉄」(75.3%)が最も高く、次いで、「JR」(47.1%)、「ちいばす」(46.7%)と続いている。

図6-24 港区で利用した交通機関



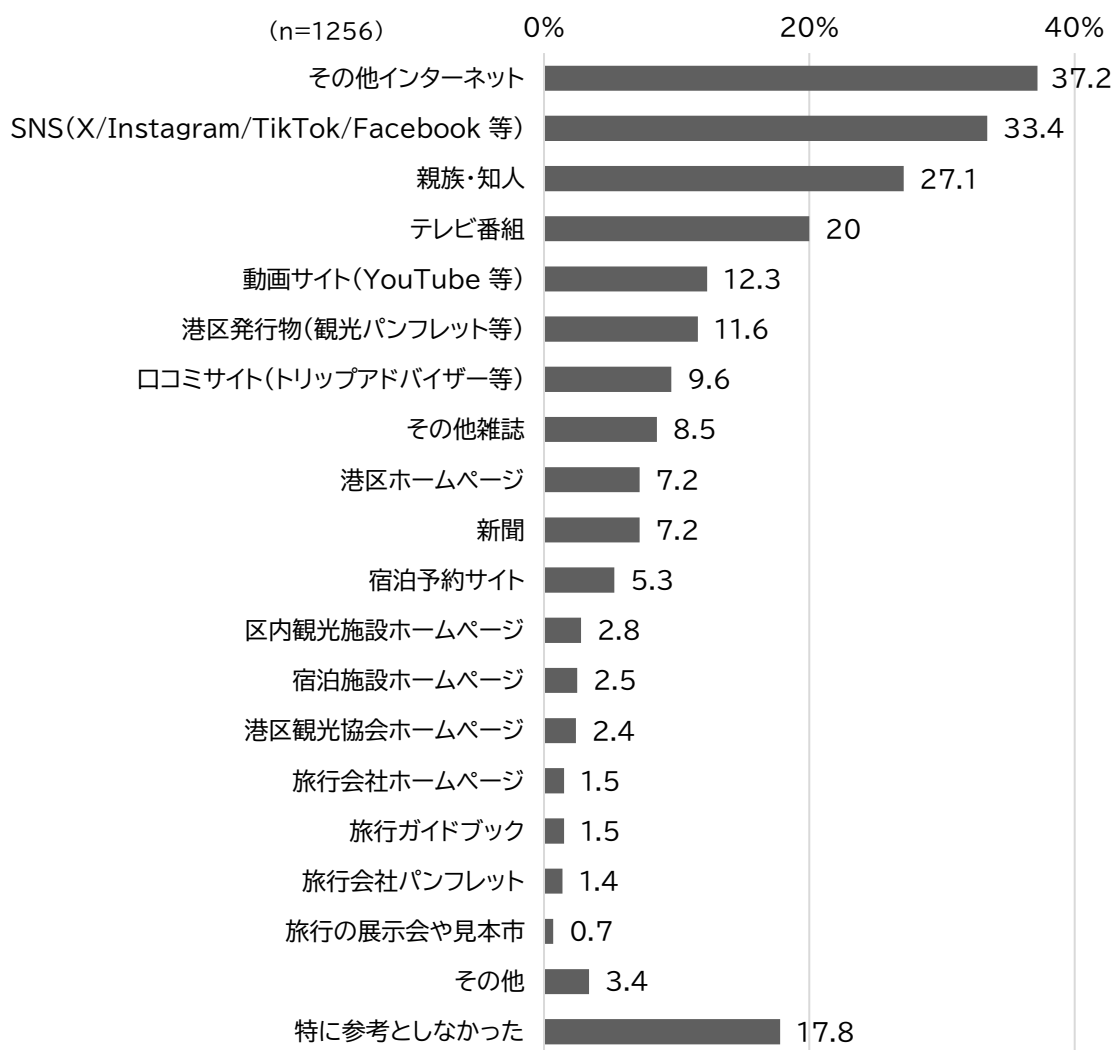
ウ お出かけ（観光目的）の際に情報を入手する方法について

問 11 出発前には、区内でお出かけする情報を得るために、次のどの情報源を利用しましたか。（あてはまるもの全てに○）

【出発前に参考にした情報源】

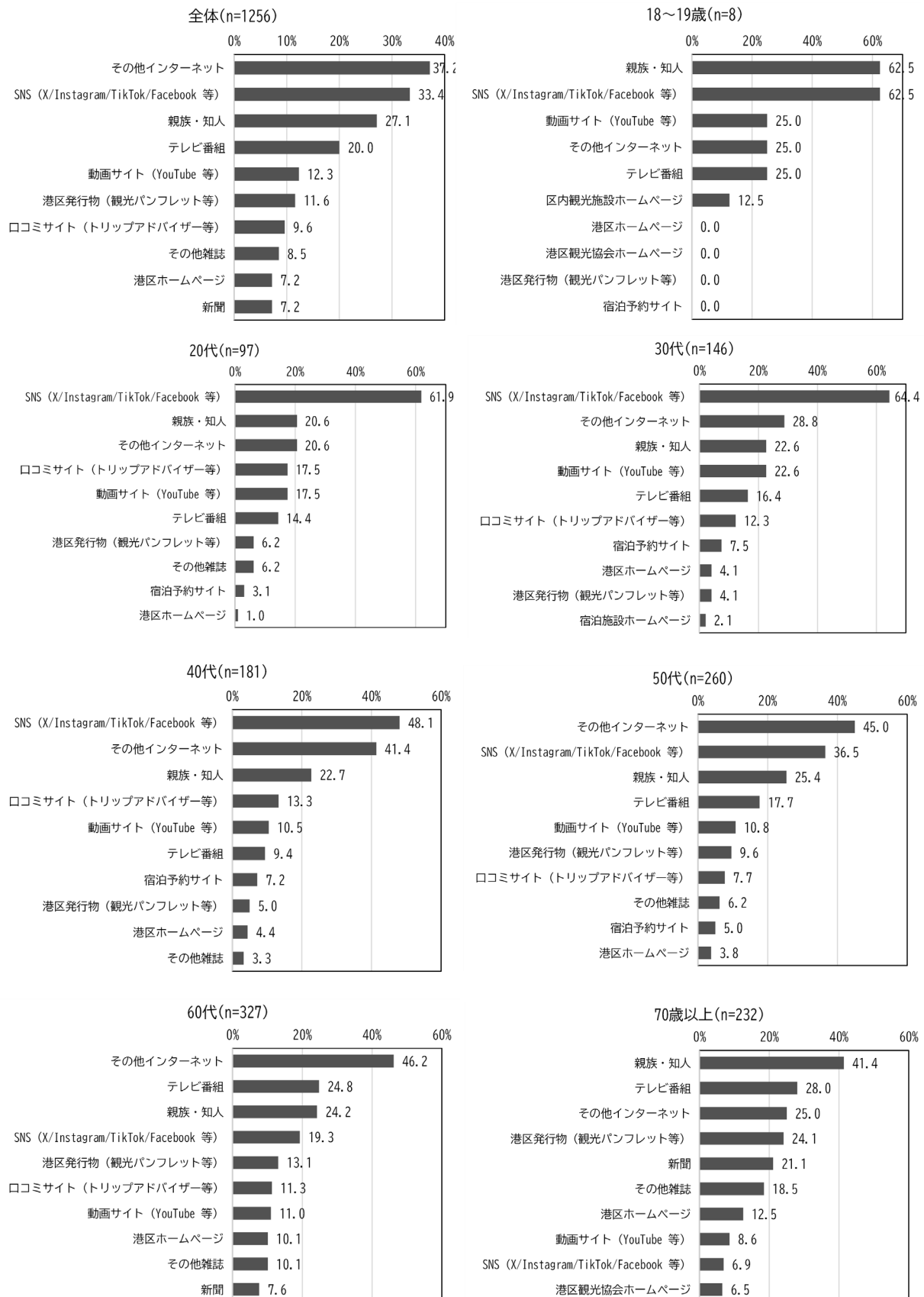
全体では、「その他インターネット」(37.2%)が最も高く、次いで、「SNS」(33.4%)、「親族・知人」(27.1%)と続いている。

図6-25 出発前に参考にした情報源



年代別で見ると、「その他インターネット」では「60代」(46.2%)、「SNS」では「30代」(64.4%)、「親族・知人」では「18～19歳」(62.5%)が最も高くなっている。

図6-26 出発前に参考にした情報源(年代別/上位10項目)



## 第6章 港区民調査

※次の問12は、問11で「1」「2」「3」「4」※のいずれかに回答した方におたずねします。  
該当しない方は問13へ  
問12 港区が提供する観光情報の内容に対する満足度はどれくらいですか。(あてはまるもの  
1つに○)

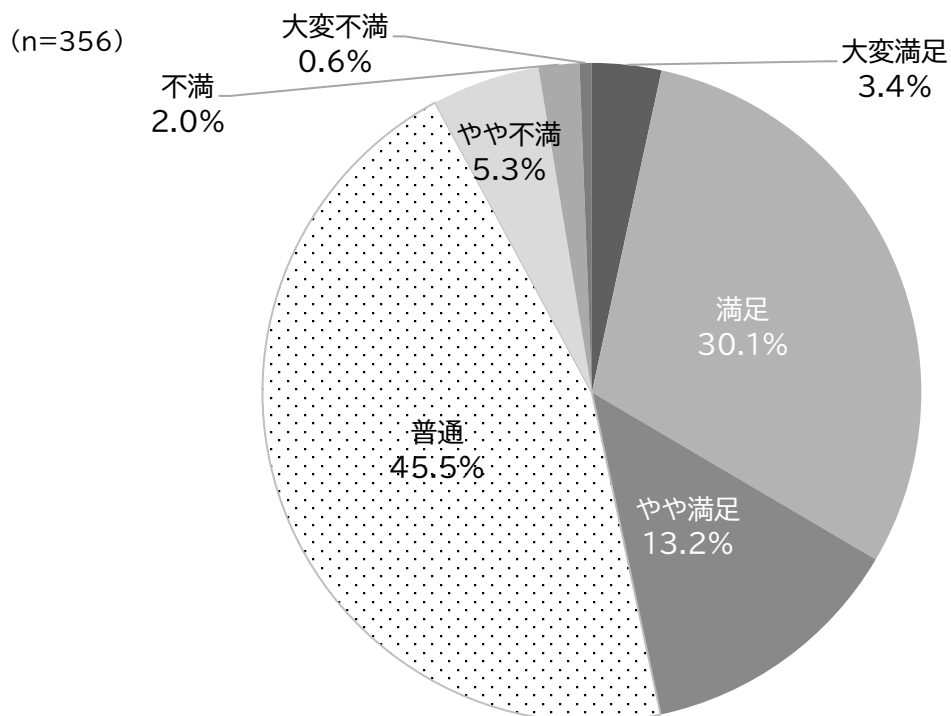
※港区からの情報発信（ホームページ、広報紙等）

### 【観光情報の内容に対する満足度】

全体では、「普通」(45.5%)が最も高く、次いで、「満足」(30.1%)、「やや満足」(13.2%)と続いている。

図6-27 観光情報の内容に対する満足度

※回答対象者から無回答を除いて算出



エ 港区内でのお出かけ（観光目的）の評価について

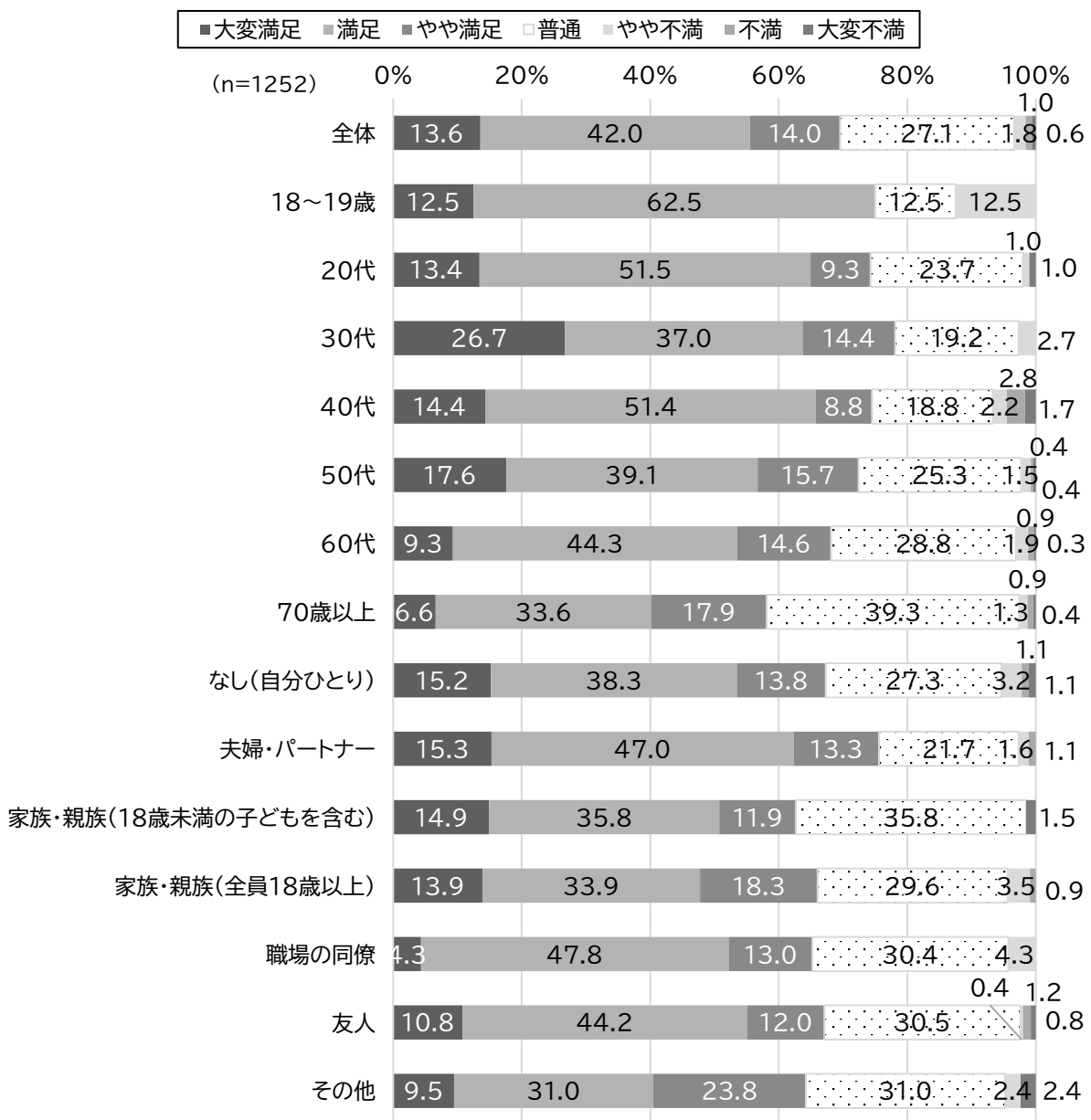
問 13 港区内でのお出かけの満足度はどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）  
 問 13-1 問 13 で「1」「2」「3」※1と答えた方におたずねします。具体的にどのような点が満足できましたか。ご自由にお答えください。  
 問 13-2 問 13 で「5」「6」「7」※2と答えた方におたずねします。具体的にどのような点が満足できませんでしたか。ご自由にお答えください。

※1：肯定的回答 ※2：否定的回答

【港区観光の満足度】

全体では、「満足」（42.0%）が最も高く、次いで、「普通」（27.1%）、「やや満足」（14.0%）と続いている。

図6-28 港区観光の満足度



※無回答を除いて算出

### 【満足できたところ（回答数：798）】

アクセスの良さとして、自宅から近い、徒歩圏内で完結する、公共交通やちいばすが便利、駅が多く移動がスムーズなど、「移動ストレスの少なさ」が非常に多くあげられている。

飲食の充実として、美味しい飲食店が多い、選択肢が豊富、質が高い、価格に見合う内容などが突出して多くあげられている。

買い物の便利さとして、欲しいものが見つかる、なんでも揃う、選択肢が多い、最新スポットがあるなどが多くあげられている。

街の美しさとして、「綺麗」「清潔」「整備されている」「ゴミが少ない」といった意見が非常に多く、街並みの洗練性、高級感、建築デザインを評価する意見も目立った。

緑と環境について、緑が多い、公園や庭園が整備されている、歴史的建造物が保存されているなど、都心でありながら自然や歴史に触れられる点への満足が多くあげられている。

文化やイベントについて、美術館・映画館・展示会・祭り・アートイベントなど、文化的な体験機会が豊富であることあげられている。

安心感として、治安が良い、落ち着いている、混雑しすぎない、安全で安心できるといったなどが多くあげられている。

### 【満足できなかったところ（回答数：65）】

満足できた回答の1/10以下の回答数ではあるが、満足できなかったところとして、以下の回答があった。交通の不便さとして、公共交通が不便、バス路線の混雑、駐輪場・駐車場の不足などにより、アクセスが良いとは言い難いとの意見があった。

混雑や観光客問題として、とにかく人が多い、混雑が激しい、観光客の増加により、商業施設や交通機関が混雑し、落ち着いて過ごせないという意見が16件あった。

価格の高さとして、飲食費、入場料、交通費、駐車場代などが全体的に高く、日常的に利用しづらいとの意見が16件あった。

接客やサービス不満について、接客態度や対応の質にばらつきがあり、店舗で不快な体験をしたなど、価格に見合うサービスが提供されていないと感じる意見があった。

情報の分かりにくさとして、イベントや施設情報が十分に届いておらず、WEBや案内内容も分かりにくい、紹介と実際が違う、公募に応募しにくいなどの意見があった。

くつろぎ空間の不足として、ベンチやゴミ箱がない、緑やくつろげる空間が少ない、ゆったり滞在できる場所が不足しているとの意見があった。

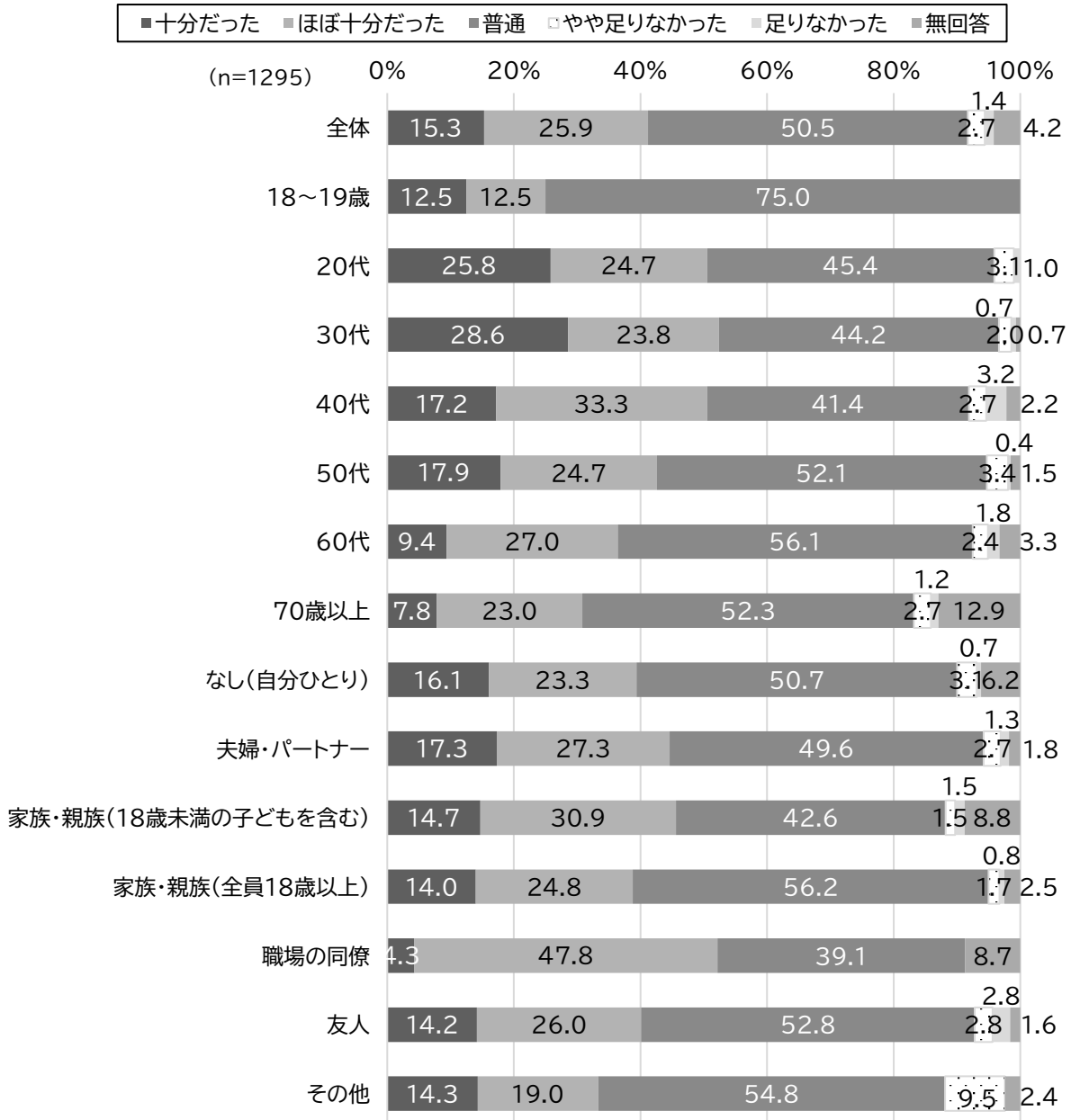
住民配慮の不足として、観光客向け施策が優先され、住民への配慮や還元が十分に感じられないとの意見もあった。

問14 港区内でのお出かけの際にホスピタリティ（おもてなし）は感じられましたか。（あてはまるもの1つに○）

【ホスピタリティ（おもてなし）の満足度】

全体では、「普通」（50.5%）が最も高く、次いで、「ほぼ十分だった」（25.9%）、「十分だった」（15.3%）と続いている。

図6-29 ホスピタリティ（おもてなし）の満足度

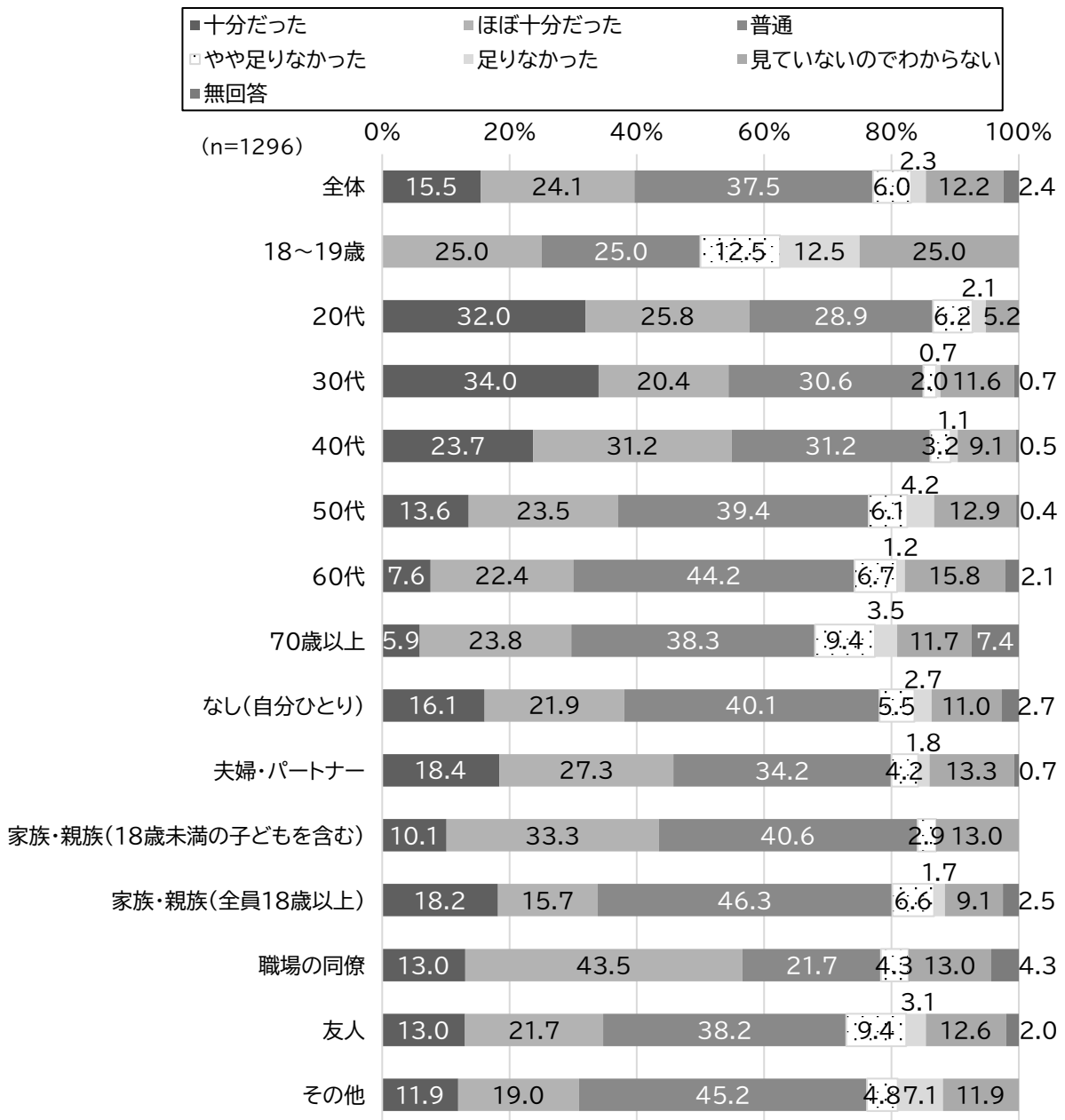


問15 港区区内には適切な数の案内表示が設置されていると感じられましたか。(あてはまるもの1つに○)

【案内表示の設置数】

全体では、「普通」(37.5%)が最も高く、次いで、「ほぼ十分だった」(24.1%)、「十分だった」(15.5%)と続いている。

図6-30 案内表示の設置数

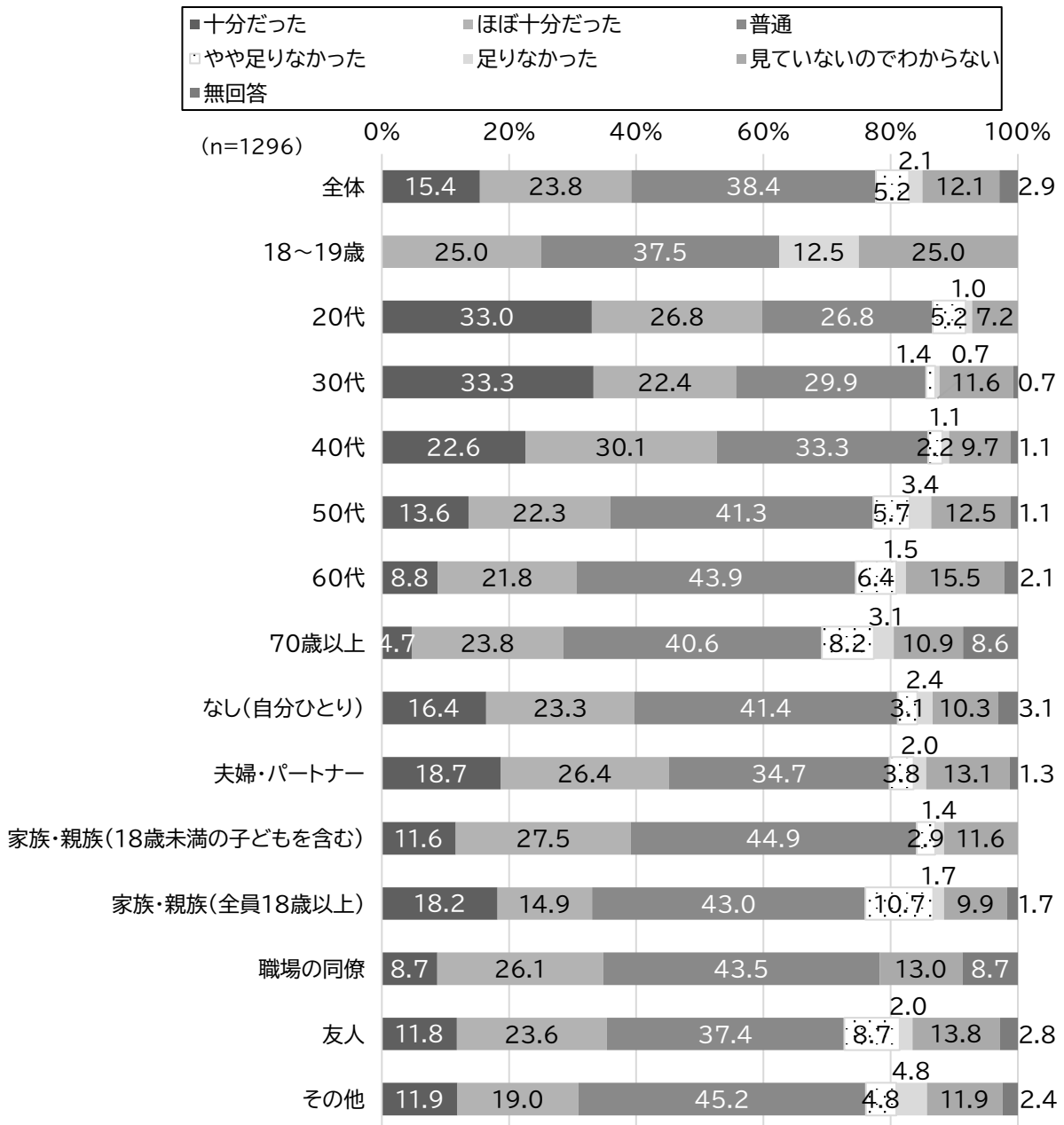


問16 案内表示はわかりやすかったですか。(あてはまるもの1つに○)

【案内表示のわかりやすさ】

全体では、「普通」(38.4%)が最も高く、次いで、「ほぼ十分だった」(23.8%)、「十分だった」(15.4%)と続いている。

図6-31 案内表示のわかりやすさ

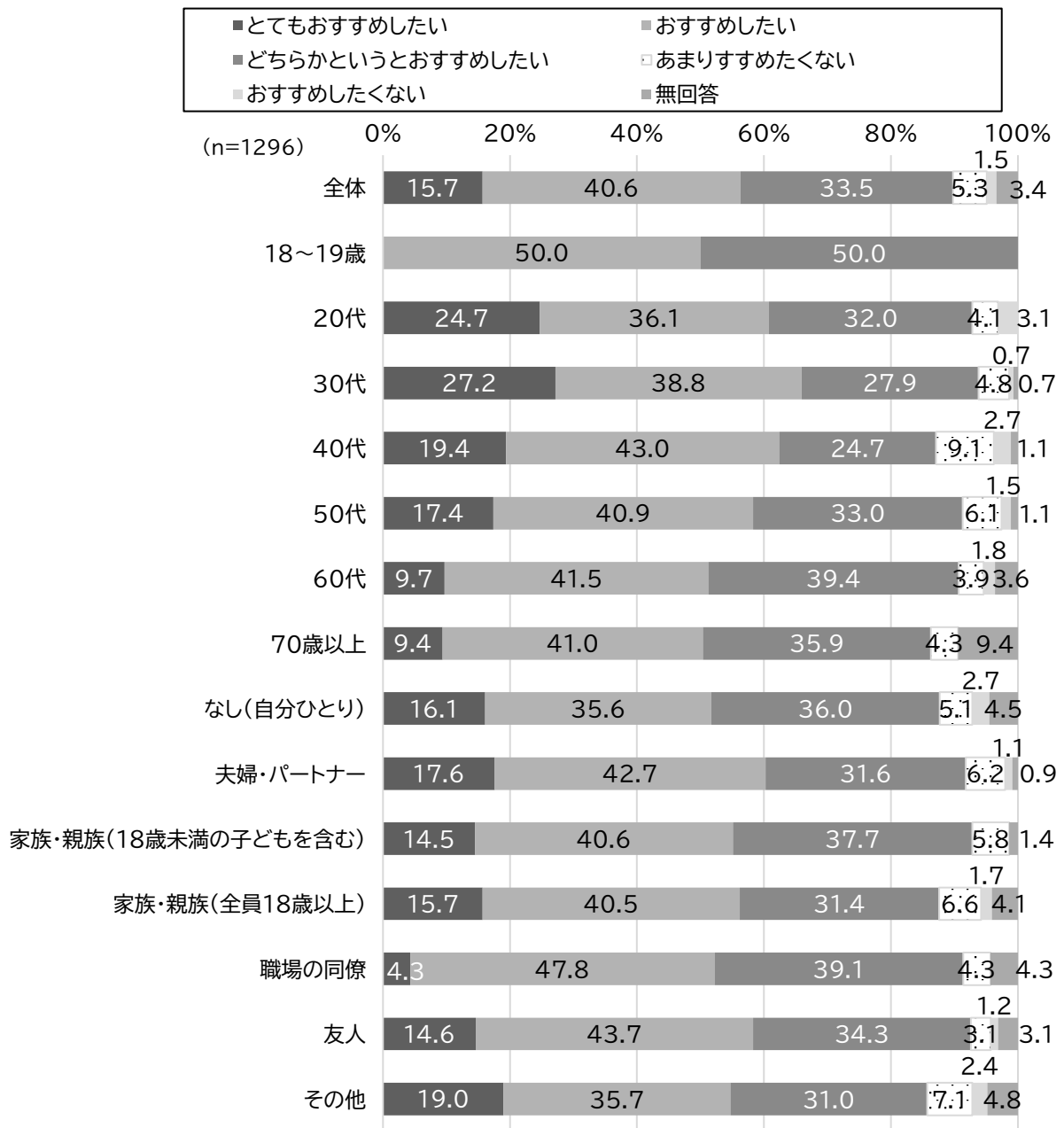


問 17 親類・家族・友人・知人等に港区の観光やお出かけをおすすめしたいと思いませんか。  
(あてはまるもの1つに○)

【港区観光のおすすめ度】

全体では、「おすすめしたい」(40.6%)が最も高く、次いで、「どちらかというにおすすめしたい」(33.5%)、「とてもおすすめしたい」(15.7%)と続き、親類・家族・友人・知人等に港区の観光やお出かけを勧めたいとする回答が89.8%の結果となった。

図6-32 港区観光のおすすめ度

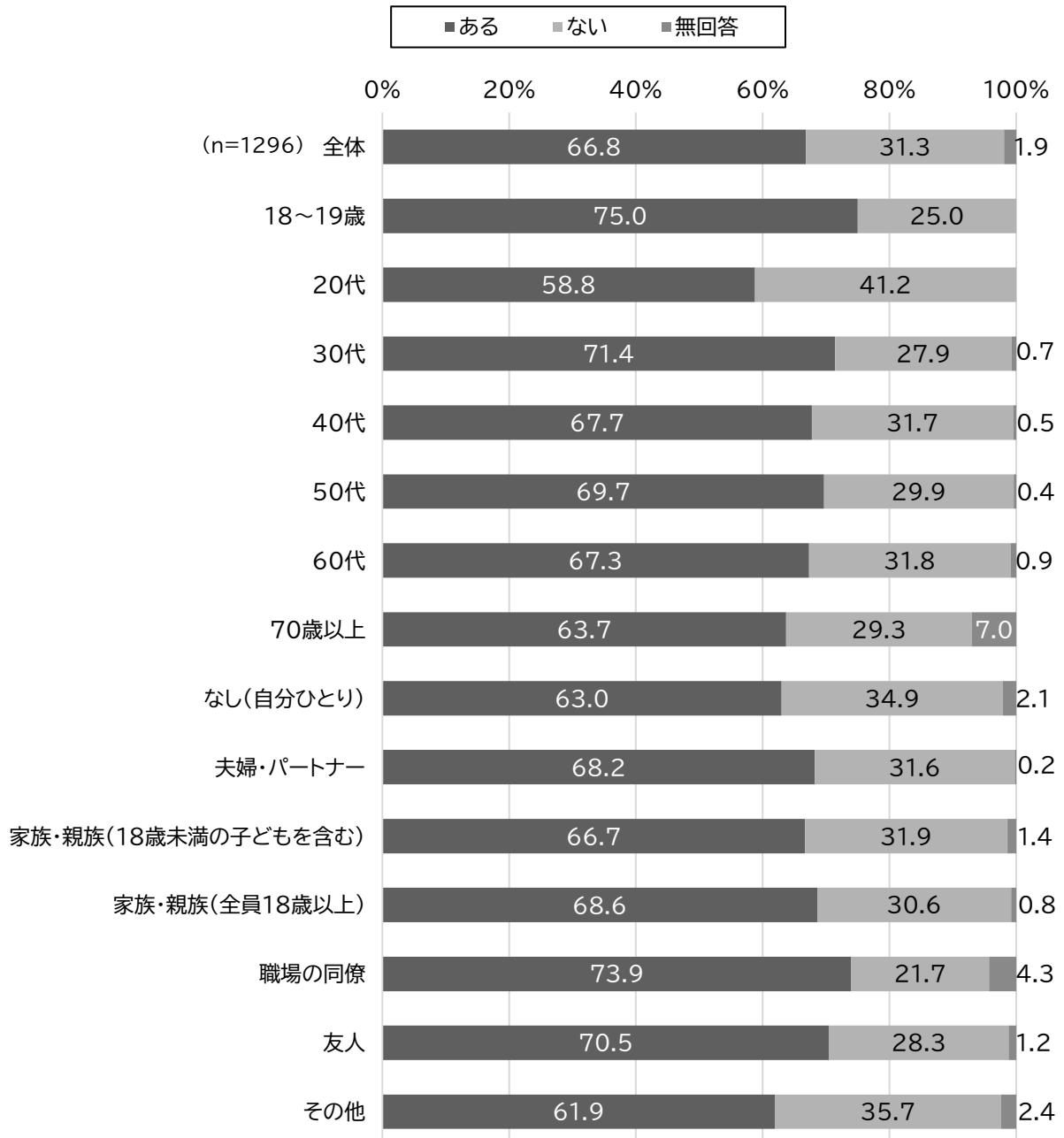


問 18 これまでに親類・家族・友人・知人等に港区のレジャー等の観光や飲食等のお出かけをおすすめしたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

【港区観光のおすすめ経験】

全体では、「ある」(66.8%)が7割近くを占めており、「ない」(31.3%)は約3割となっている。

図6-33 港区観光のおすすめ経験



問19 問18で「ある」と答えた方は、どのような内容をおすすめしましたか。具体的にお答えください。

【過去におすすめした港区観光について】

港区観光のおすすめ内容としては、飲食店の紹介が最も多く、レストラン・カフェ・バー・ホテルラウンジ・ビュッフェなど、具体的な店舗やジャンルを挙げる回答が多数を占めた。コストパフォーマンスの良さや駅近など利便性に触れるものも見られた。

次いで、大型複合施設・再開発エリアに関する紹介が多く、麻布台ヒルズ、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、東京ミッドタウン、TAKANAWA GATEWAY CITY、NEWoMan TAKANAWA など、新規開業施設や商業ビルをあげる回答が目立った。

また、東京タワーを中心としたランドマークや夜景スポット、お台場、レインボーブリッジなどの景観資源をすすめたとの回答も多かった。神社仏閣・歴史資源では、増上寺、泉岳寺、愛宕神社などが挙げられ、寺社参拝や歴史散策をすすめたとの回答があった。

さらに、美術館・文化施設（森美術館、国立新美術館、サントリー美術館、根津美術館、庭園美術館など）や、展示会・コンサート・アートイベントを紹介したとの回答も一定数見られた。

その他、公園・庭園・自然散策（芝公園、自然教育園、浜離宮、芝離宮など）、季節行事（桜、イルミネーション、祭り、マルシェ等）、クルーズや映画館、水族館などのレジャー施設をすすめたとの回答もあった。

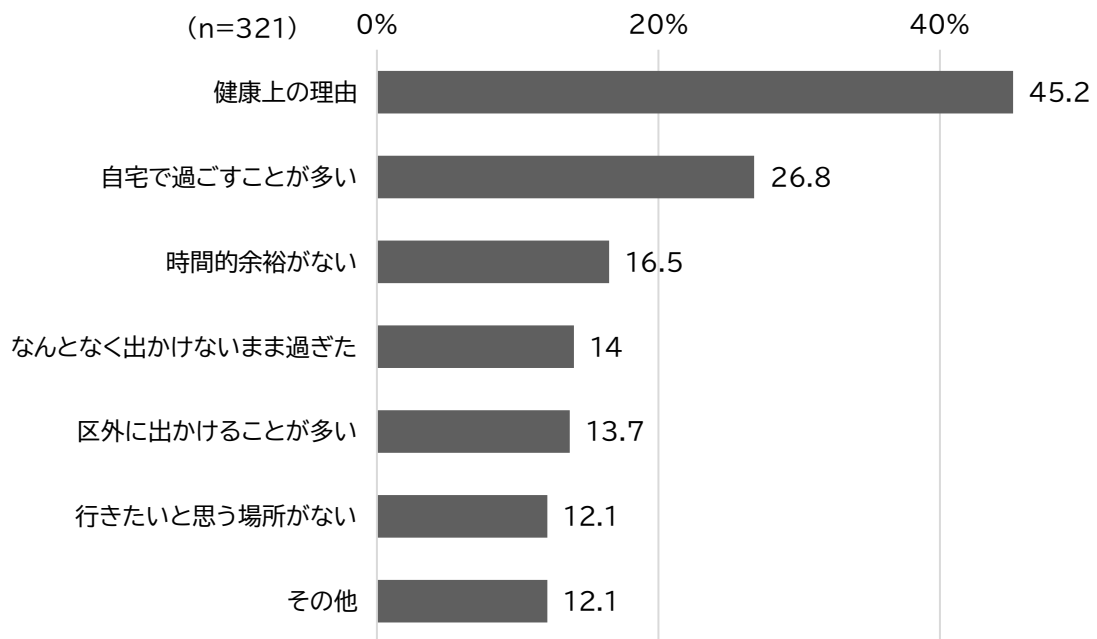
全体として、飲食を中心に、再開発エリア・ランドマーク・文化施設・自然資源を組み合わせた紹介内容が多い傾向がみられた。

問 20 あなたが過去1年以内でレジャーや飲食等のお出かけをしなかった理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

【お出かけをしなかった理由】

全体では、「健康上の理由」(45.2%)が最も高く、次いで、「自宅で過ごすことが多い」(26.8%)、「時間的余裕がない」(16.5%)と続いている。

図6-34 お出かけをしなかった理由



## 第6章 港区民調査

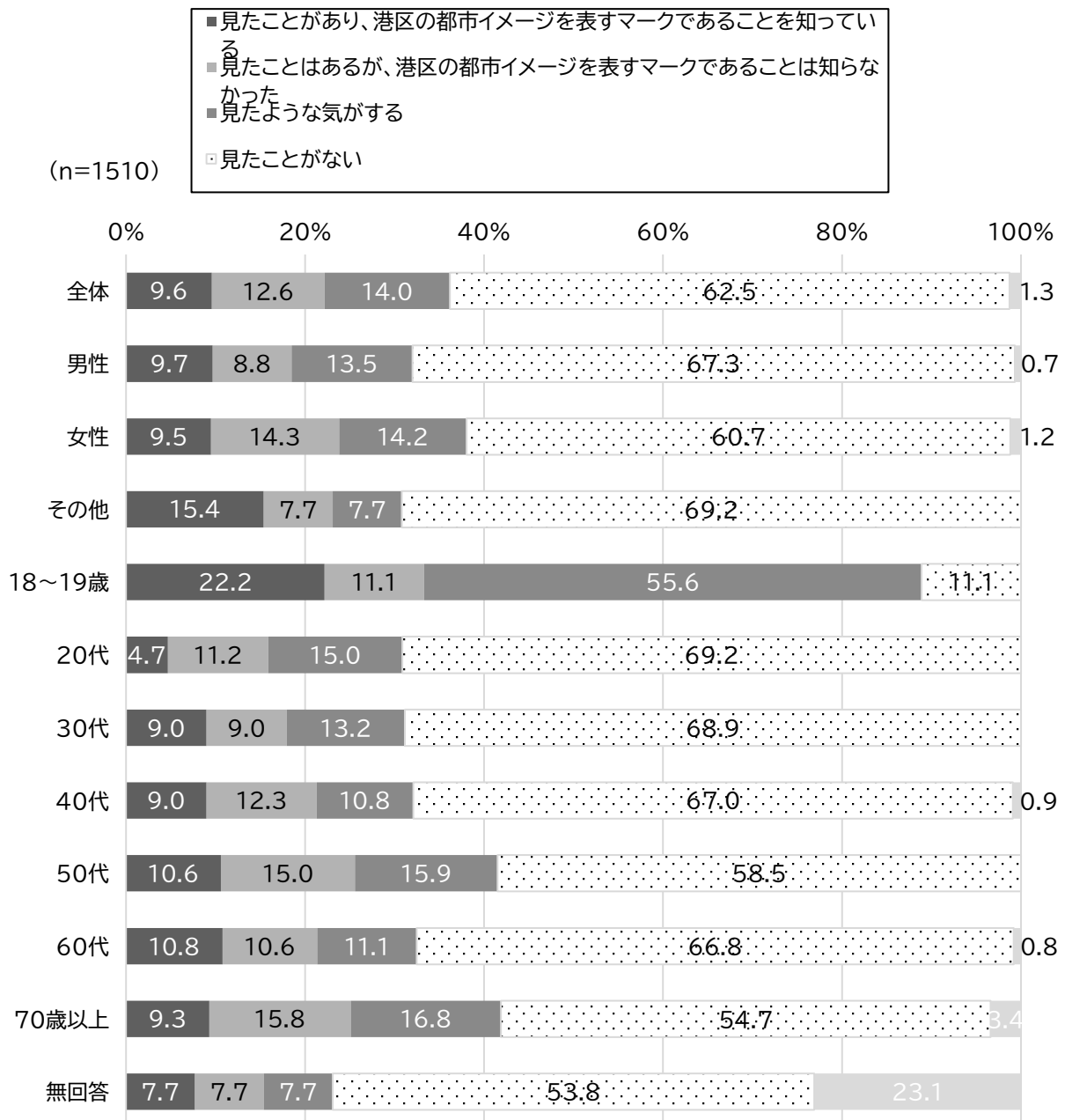
### オ 港区に対する都市イメージについて

問 21 港区は平成 28 年 5 月に策定した「港区シティプロモーション戦略」に基づき、国内外の人々に港区の魅力やブランド、都市イメージを表現し、魅力を伝える「シティプロモーションシンボルマーク」を作成し活用しています。あなたはシティプロモーションシンボルマークをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

#### 【シティプロモーションシンボルマークの認知度】

全体では、「見たことがない」(62.5%)で最も高く、次いで、「見たような気がする」(14.0%)、「見たことはあるが、港区の都市イメージを表すマークであることは知らなかった」(12.6%)と続いている。認知度として、見たことがあるまたは見たような気がすると回答した人は36.2%で、前回調査(27.4%)より8.8ポイントが増加しており、認知度は着実に向上している。

図6-35 シティプロモーションシンボルマークの認知度



問 22 港区に住んでいることについて誇りや愛着はありますか。その理由もあわせてお答えください。(あてはまるもの1つに○、理由は自由記入)

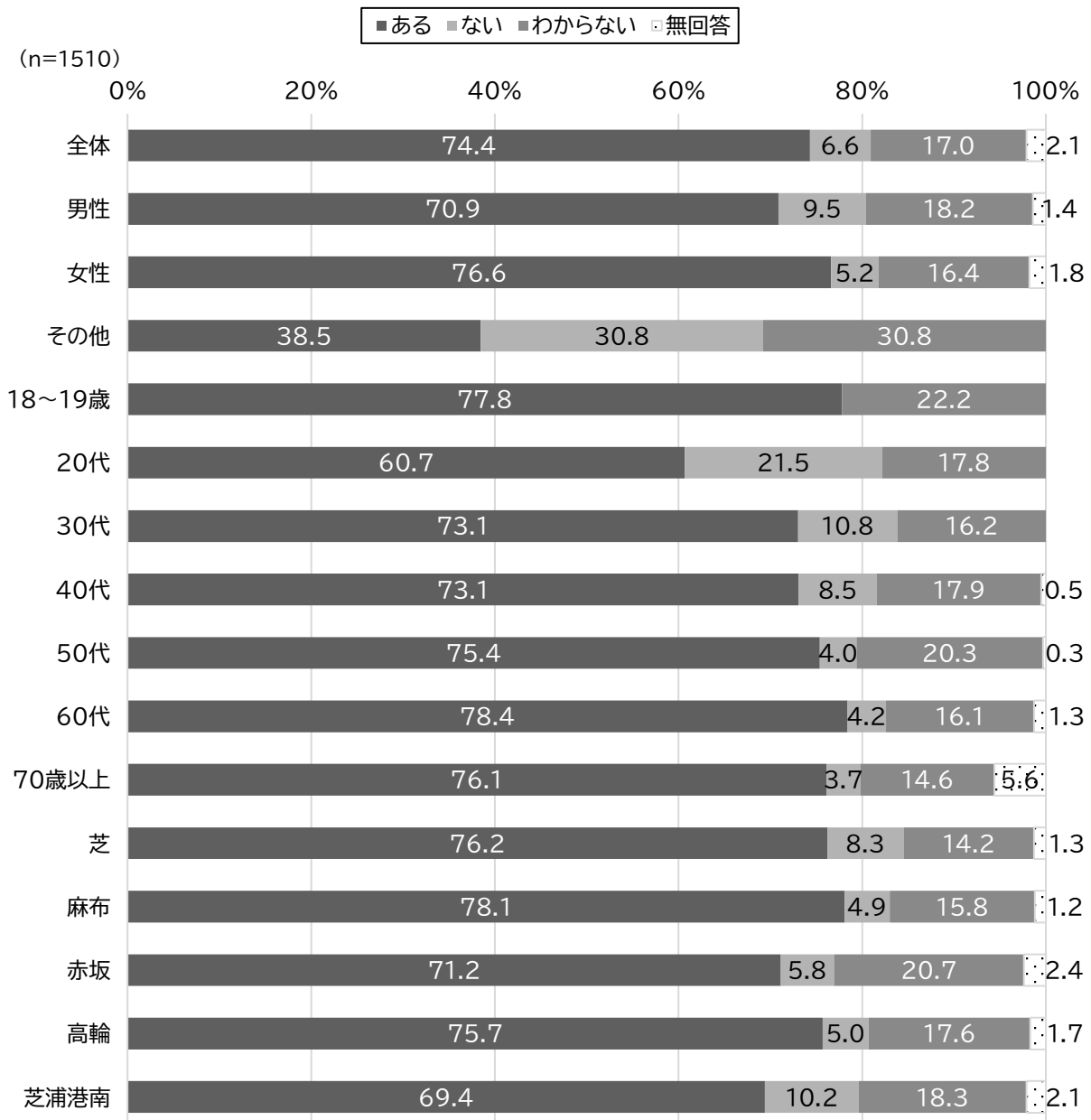
【港区に住んでいることについての誇りや愛着】

全体では、「ある」(74.4%)が最も高く、次いで、「わからない」(17.0%)、「ない」(6.6%)となっている。前回調査と比べて「ある」(85.9%)は11.5ポイント減少している。

年代別で見ると、「ある」は「60代」(78.4%)、「ない」は「20代」(21.5%)が最も高くなっている。前回調査と比較すると、「ある」の割合は、すべての年代において前回調査を下回っており、特に20代(前回調査85.5%)において、減少している。

地区別で見ると、「ある」は「麻布」(78.1%)、「ない」は「芝浦港南」(10.2%)が最も高くなっている。前回調査と比較すると、「ある」の割合は、すべての地区で前回調査を下回っており、特に「芝浦港南」(前回調査87.9%)において、減少している。

図6-36 港区に住んでいることについての誇りや愛着



## 第6章 港区民調査

### カ 港区への観光客の受け入れについて

問23 あなたは普段、港区内で観光客をどのくらいの頻度で見かけますか。(あてはまるもの1つに○)

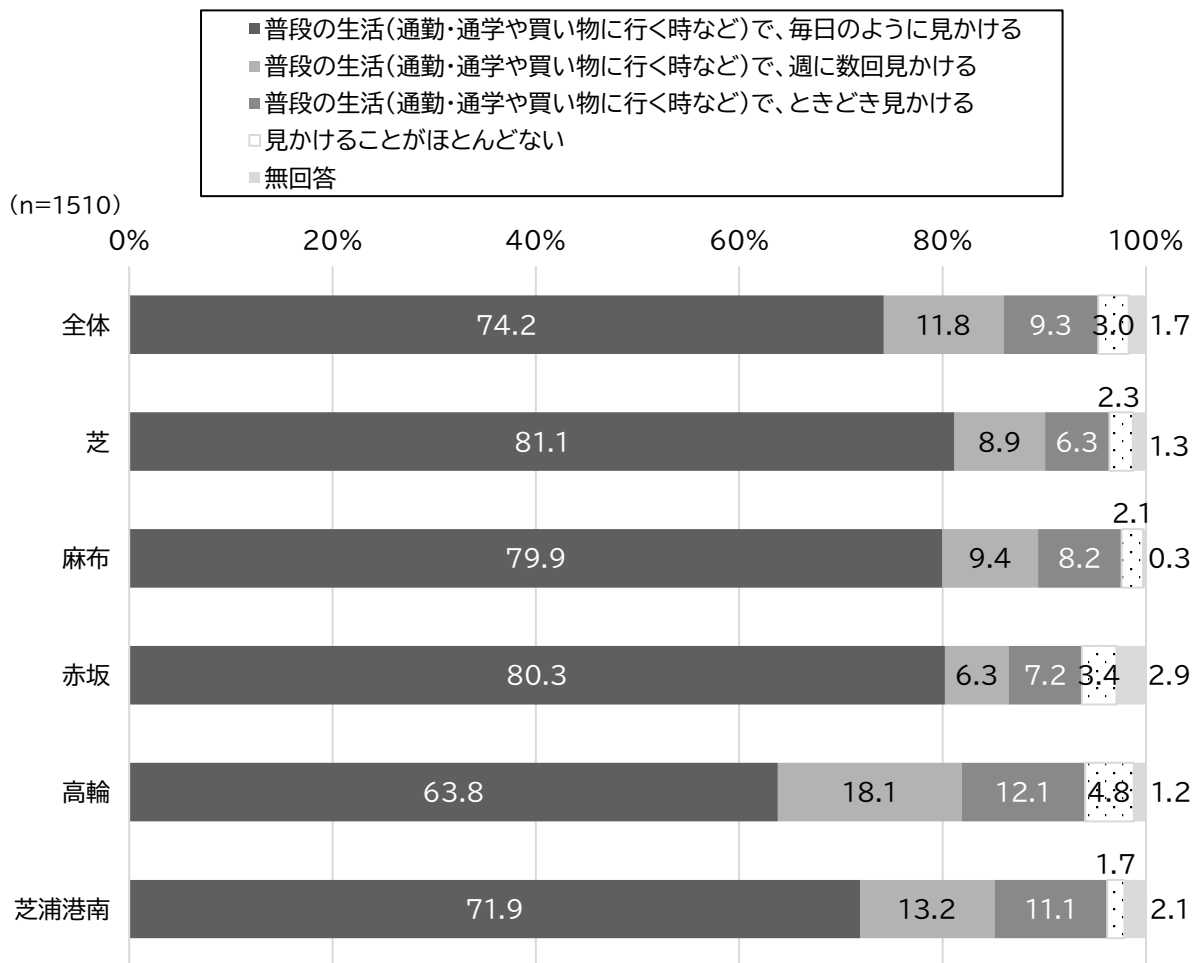
#### 【観光客を見かける頻度】

全体では、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、毎日のように見かける」（74.2%）が最も高く、次いで、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、週に数回見かける」（11.8%）、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、ときどき見かける」（9.3%）と続いている。

地区別でみると、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、毎日のように見かける」は「芝」（81.1%）、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、週に数回見かける」は「高輪」（18.1%）、「普段の生活（通勤・通学や買い物に行く時など）で、ときどき見かける」は「高輪」（12.1%）が最も高くなっている。

地区によって外国人観光客を見かける頻度に差があることが分かる。

図6-37 観光客を見かける頻度



問24 あなたは普段、観光客と接する機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

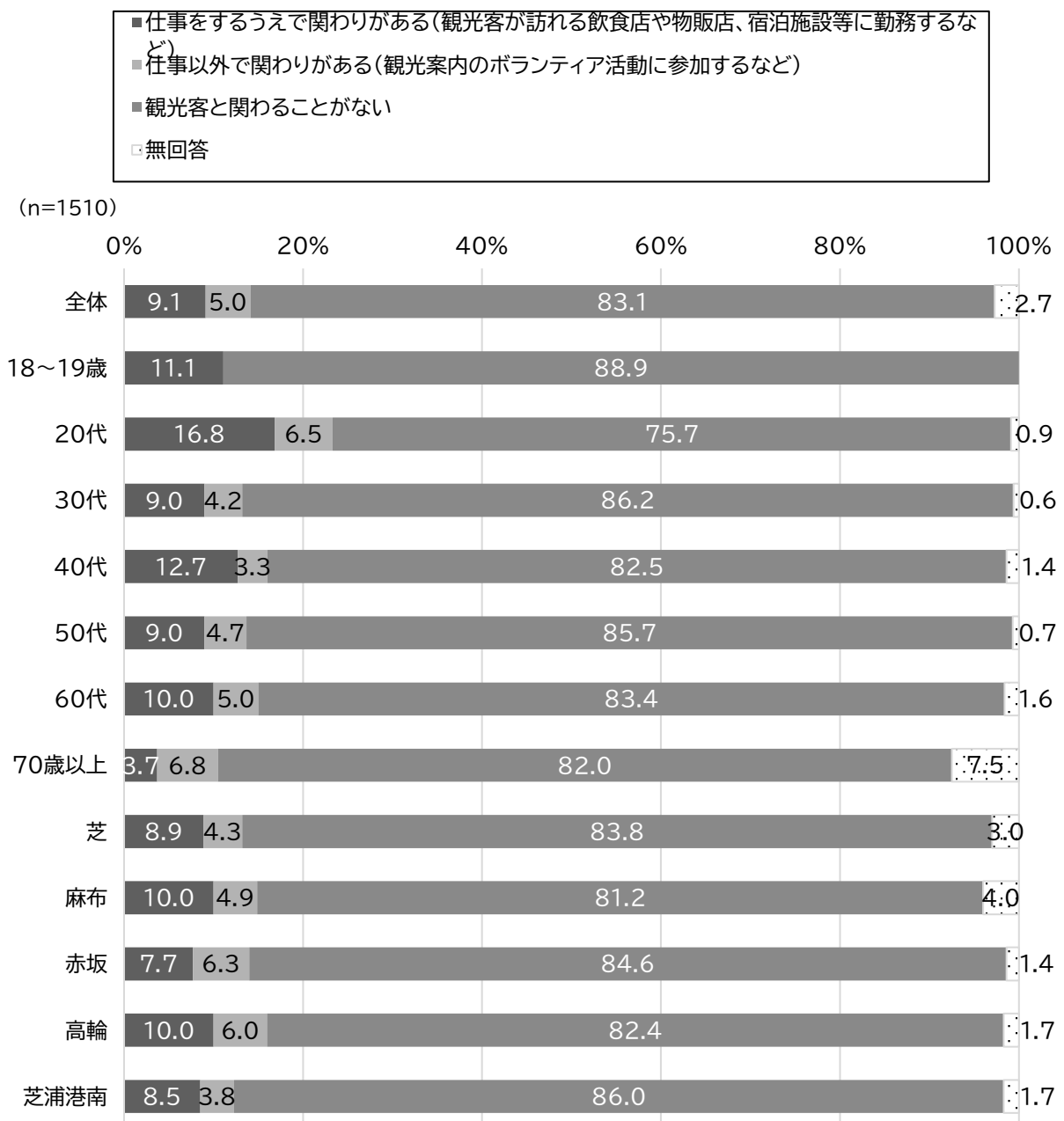
【観光客と接する機会】

全体では、「観光客と関わることがない」(83.1%)が最も高く、次いで、「仕事をするうえで関わりがある」(9.1%)、「仕事以外に関わりがある」(5.0%)と続いている。

年代別でみると、「観光客と関わることがない」は「18～19歳」(88.9%)、「仕事をするうえで関わりがある」は「20代」(16.8%)、「仕事以外に関わりがある」は「70歳以上」(6.8%)が最も高くなっている。

地区別でみると、「観光客と関わることがない」は「芝浦港南」(86.0%)、「仕事をするうえで関わりがある」は「麻布」「高輪」(ともに10.0%)、「仕事以外に関わりがある」は「赤坂」(6.3%)が最も高くなっている。

図6-38 観光客と接する機会



問25 あなたは港区を訪れる観光客と関わりを持ちたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

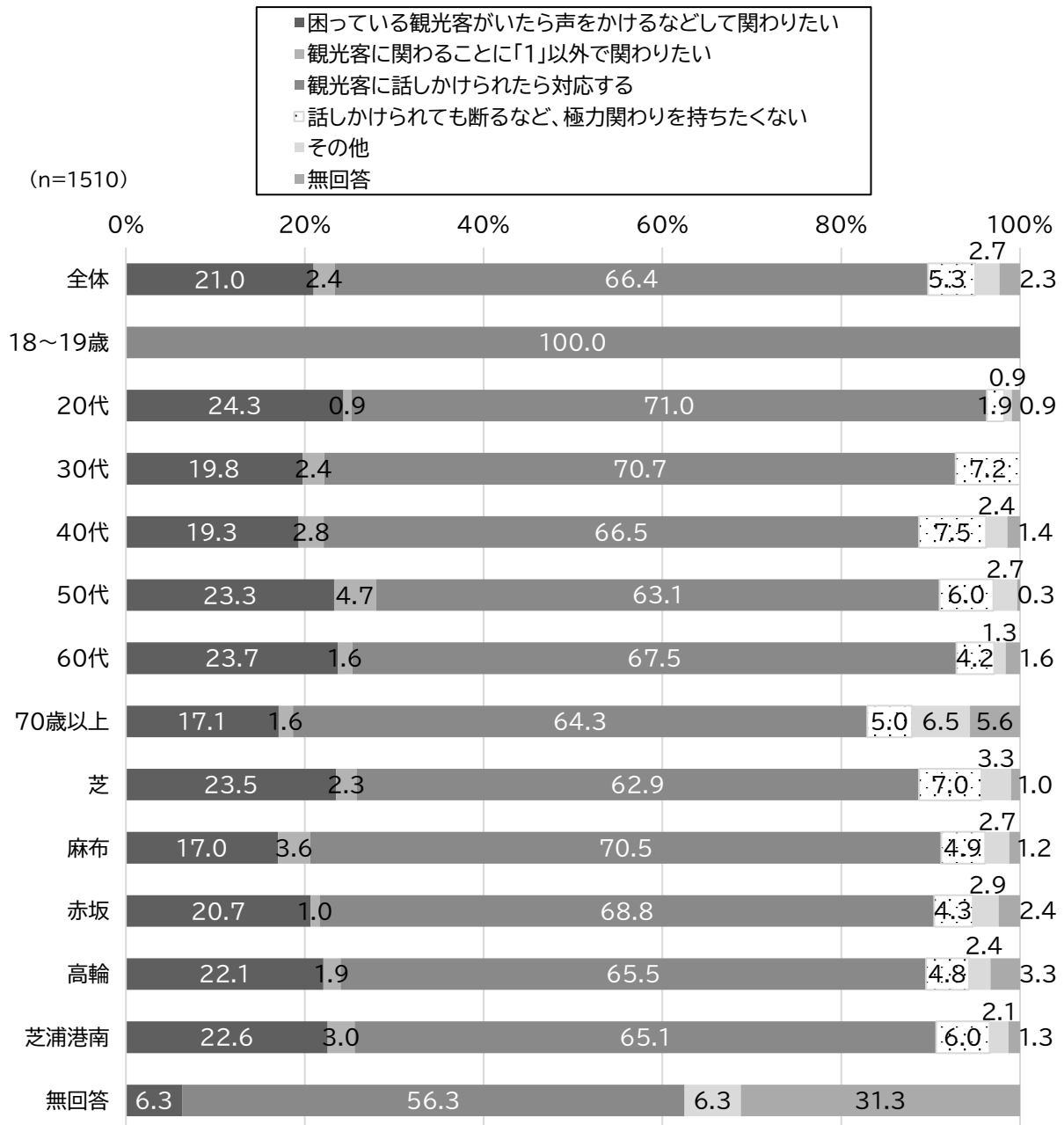
【観光客と関わりたい意向】

全体では、「観光客に話しかけられたら対応する」(66.4%)が最も高く、次いで、「困っている観光客がいたら声をかけるなどして関わりたい」(21.0%)、「話しかけられても断るなど、極力関わりを持ちたくない」(5.3%)と続いている。

年代別でみると、「観光客に話しかけられたら対応する」は「18～19歳」9人(100%)、「困っている観光客がいたら声をかけるなどして関わりたい」は「20代」26人(24.3%)が最も高くなっている。

地区別でみると、「観光客に話しかけられたら対応する」は「麻布」(70.5%)、「困っている観光客がいたら声をかけるなどして関わりたい」は「芝」(23.5%)が最も高くなっている。

図6-39 観光客と関わりたい意向



問26 今後、港区において、観光客を積極的に受け入れてもよいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

問26-1 問26で「1」「2」※1と答えた方におたずねします。その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

問26-2 問26で「3」「4」※2と答えた方におたずねします。その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

※1：肯定的回答 ※2：否定的回答

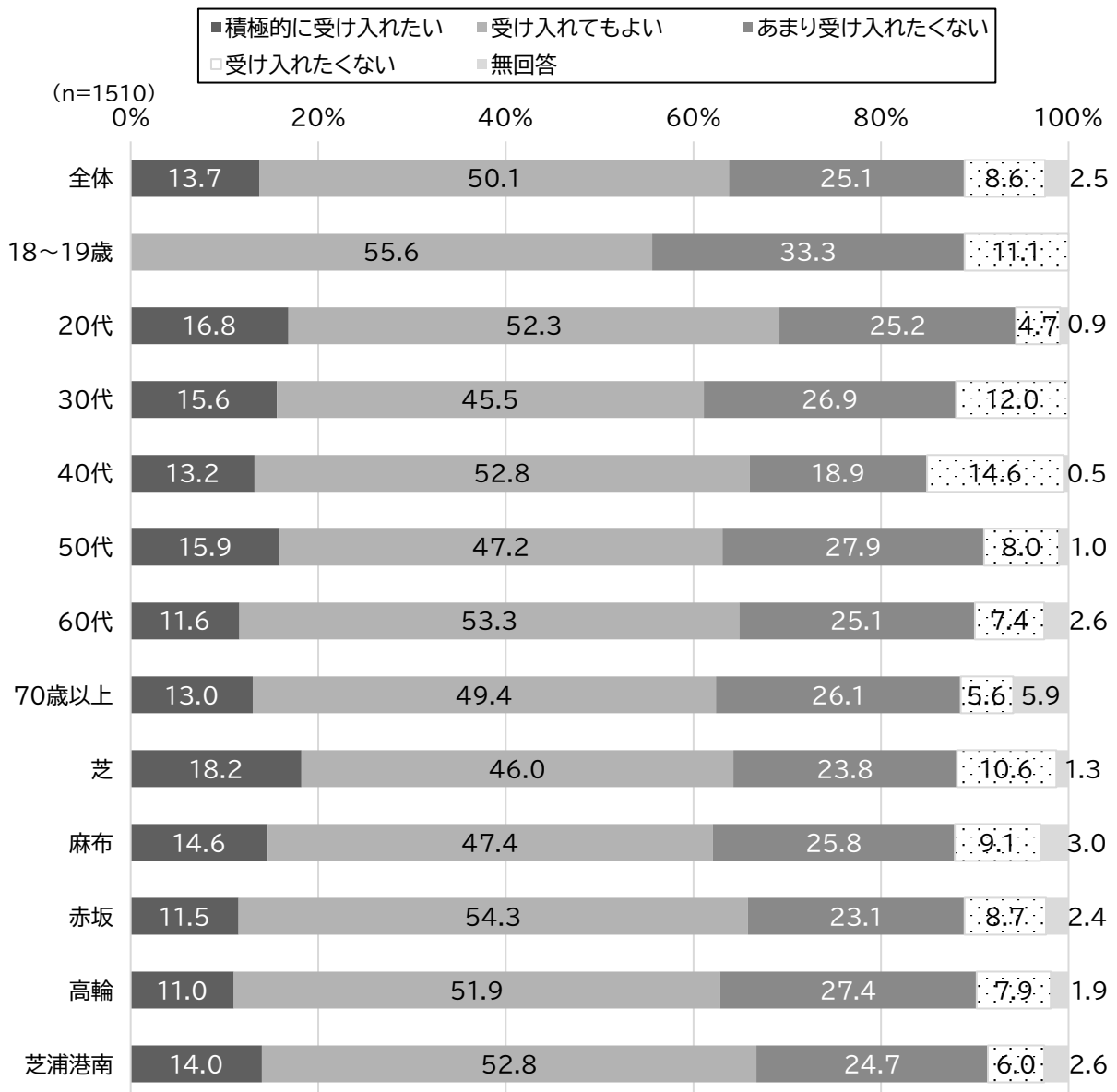
【観光客の受け入れ意向】

全体では、「受け入れてもよい」(50.1%)が最も高く、次いで、「あまり受け入れたくない」(25.1%)、「積極的に受け入れたい」(13.7%)と続いている。

年代別で見ると、「積極的に受け入れたい」は「20代」(16.8%)、「受け入れたくない」は「40代」(14.6%)が最も高くなっている。

地区別で見ると、「積極的に受け入れたい」は「芝」(18.2%)、「受け入れたくない」も「芝」(10.6%)が最も高くなっている。

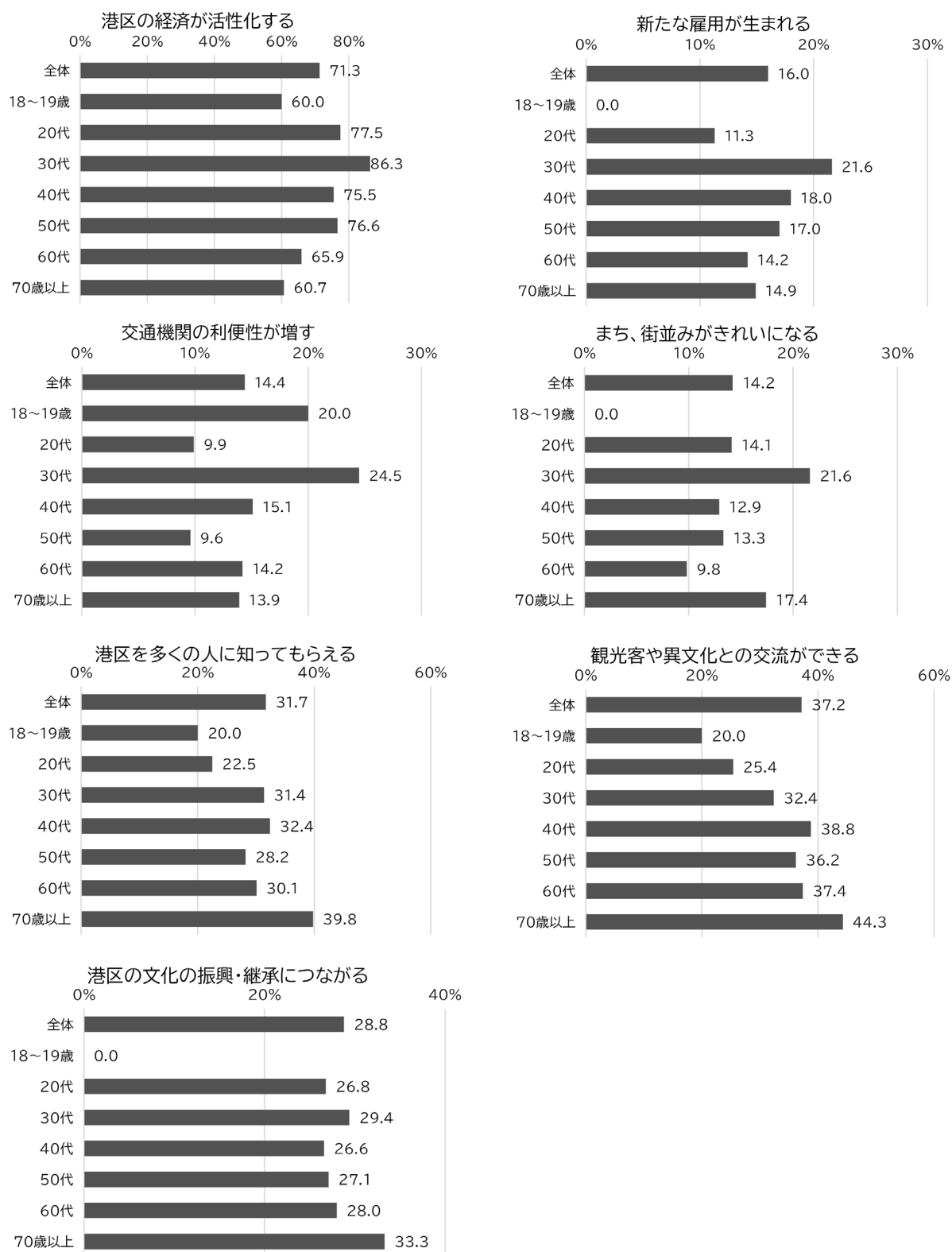
図6-40 観光客の受け入れ意向



## 第6章 港区民調査

受け入れてもよい理由として、全体では「港区の経済が活性化する」(71.3%)が最も高く、次いで、「観光客や異文化との交流ができる」(37.2%)、「港区を多くの人に知ってもらえる」(31.7%)と続いている。

図6-41 観光客の受け入れ意向（肯定的理由）



受け入れたくないと回答した509人の理由として、全体では「観光客のマナー違反（騒音、ごみのポイ捨てなど）により迷惑する」430人（84.9%）が最も高く、次いで、「まちの治安が悪化する」303人（59.8%）、「まちが汚くなる」299人（58.8%）と続いている。

表6-3 観光客の受け入れ意向（否定的理由）

（%）

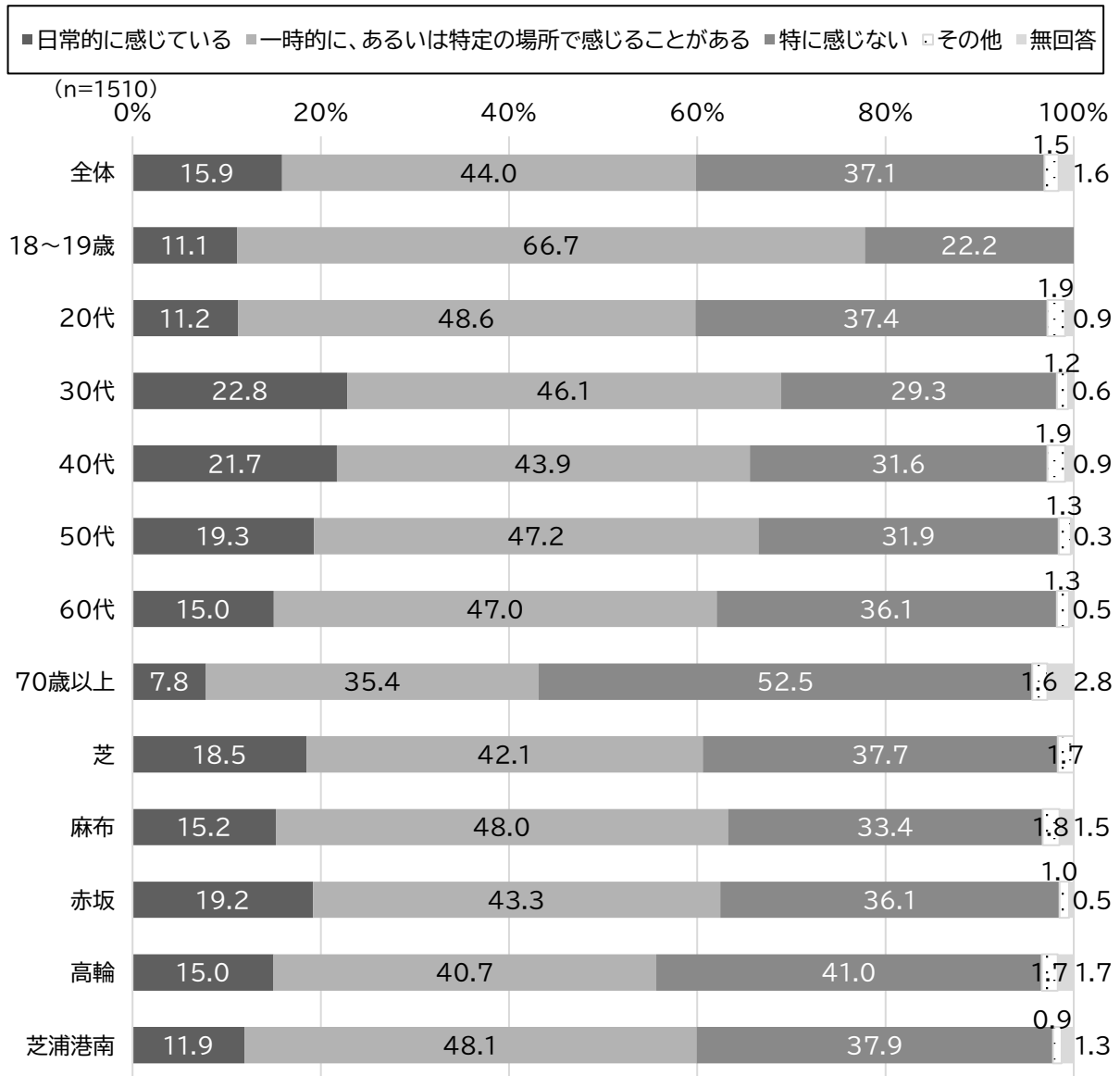
(n=517)	観光施設や買物施設などが混雑する	路線バス、地下鉄などの公共交通機関が混雑する	道路が渋滞する	観光客のマナー違反（騒音、ごみのポイ捨てなど）により迷惑する	まちの治安が悪化する	まちが汚くなる	施設の利用率や商品の値上がり	その他
全体	56.7	58.2	22.4	84.9	59.8	58.8	40.6	12.6
18～19歳	50.0	75.0	0.0	100.0	75.0	50.0	50.0	0.0
20代	68.8	62.5	28.1	87.5	71.9	81.3	50.0	6.3
30代	60.0	53.8	21.5	92.3	75.4	76.9	41.5	10.8
40代	59.2	66.2	29.6	87.3	74.6	76.1	40.8	8.5
50代	65.5	67.3	27.3	90.0	62.7	60.0	40.9	18.2
60代	57.5	54.3	16.5	78.7	55.9	54.3	44.9	13.4
70歳以上	40.4	49.0	18.3	78.8	36.5	33.7	31.7	11.5
芝	55.2	54.3	21.0	80.0	59.0	55.2	33.3	16.2
麻布	54.2	54.2	18.6	88.1	58.5	60.2	43.2	11.0
赤坂	65.7	61.2	26.9	88.1	56.7	65.7	46.3	7.5
高輪	60.7	64.0	24.7	84.7	64.7	58.7	39.3	12.7
芝浦港南	48.6	56.9	19.4	83.3	55.6	56.9	45.8	13.9

問27 全ての方におたずねします。問26-2のように観光客が訪れることにより、普段の生活に悪い影響が出ていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

【観光客来訪による悪影響】

全体では、「一時的に、あるいは特定の場所で感じることもある」(44.0%)が最も高く、次いで、「特に感じない」(37.1%)、「日常的に感じている」(15.9%)と続いている。

図6-42 観光客来訪による悪影響



問28 問27で「1」「2」\*と答えた方におたずねします。普段の生活に悪い影響が出ていると感じる場所はどこですか。具体的にお答えください。

※悪影響を感じている回答

【観光客来訪による悪影響の具体的な内容（回答数：29）】

観光客増加による影響として最も多くあげられたのは、公共交通機関や歩道・商業施設での混雑、およびマナー違反（騒音・ポイ捨て・路上喫煙・通行妨害など）であった。特に大型スーツケースの持ち込みや団体行動による通行妨害、写真撮影目的での道路占拠などが日常生活へのストレスとして認識されている。また、民泊問題・価格上昇・治安不安を挙げる声も多く、生活環境への影響を懸念する意見があった。

交通機関の混雑や移動に対するストレスとして、電車・地下鉄・バスの混雑（特に通勤時間帯）や路線バスや地下鉄での乗降トラブル、大型スーツケースで通路・優先席を占拠しているなどの意見があった。

歩道での通行妨害として、路上での座り込みやスマホ操作で立ち止まり通行妨害、集団で横並びでの歩行、公道カート（ゴーカート）、電動キックボードへの不安などがあった。具体的な場所として、赤羽橋交差点（東京タワー撮影スポット）や六本木ヒルズけやき坂イルミネーション、表参道交差点などがあがっていた。

マナー違反に対しては、「ゴミ」「うるさい」「ポイ捨て」といったワードが複数あり、路上タバコ、ゴミの分別違反・放置、電車内での大声会話、夜間騒音（ホテル・民泊付近）など、具体的に愛宕神社の池へのゴミ投棄といった意見もあった。

商業施設や飲食店への影響として、観光地価格（インバウンド価格）への不満やスーパーでの大量購入による品薄、表参道ブランド店前の長時間待機などがあった。また、予約が困難になったといった意見もあった。

住宅地への影響や治安への不安感に対して、ゴミ出しルール違反や不特定多数の出入りによる防犯不安、マンション共用部の汚損、住宅地での違法民泊疑惑などがあがっていた。

一方で、「仕方ない」「経済活性化には良い」「港区では他区より影響が少ない」といった冷静・限定的な意見も存在した。

第6章 港区民調査

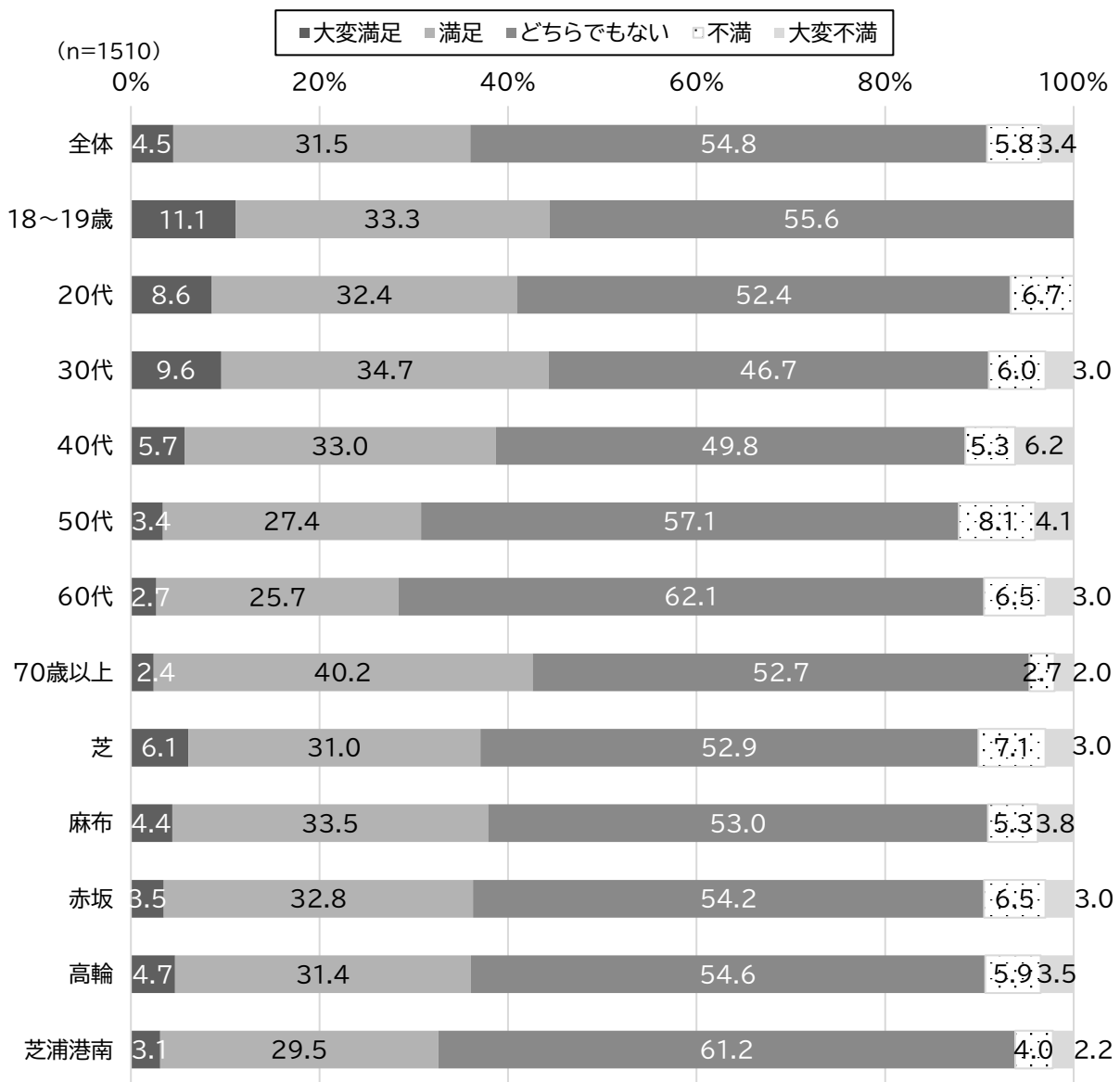
キ 観光全般についてのご意見

問 29 港区では、環境面、経済面、社会的・文化的な観点で「持続可能な観光地」づくりに取り組み、観光客の受け入れのみならず、区民生活と調和した観光地をめざしています。現在の港区の「持続可能な観光地」としての満足度はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

【港区の「持続可能な観光地」としての満足度】

全体では、「どちらでもない」(54.8%)が最も高く、次いで、「満足」(31.5%)、「不満」(5.8%)と続いている。

図6-43 港区の「持続可能な観光地」としての満足度



問30 港区の観光に関する取組についてのご意見がありましたら、お聞かせください。

【港区の観光に関する取組への意見（回答数：474）】

全体として、区民生活との調和・マナー徹底・環境維持・受入れ体制整備を求める意見が多数を占めた。「量より質」「振興よりも管理・抑制を優先すべき」との慎重姿勢があった。一方で、港区は十分観光客に配慮できている、活性化されていて満足、インバウンド等における観光資源の活用は大変意義がある、充実した施設がある区だと思ふ、外国人観光客は大歓迎、「持続可能な観光地」に賛成、引き続き政策の推進を期待するといった肯定的な声も一定数みられた。

コンテンツ強化や発信強化として、歴史資源（泉岳寺など）の物語化、アニメ・漫画とのコラボ、港区オリジナルグッズ拡充、大使館イベント紹介、イベント情報の周知強化などの提案があった。一方で、持続可能な観光の具体像を示してほしい、成果・メリットを区民に見せてほしいといった声もあった。

区民生活との調和を最優先すべきといった意見が最も多く、観光より住民サービスを優先すべき、区民の安全・安心・快適性を守ってほしい、住宅地と観光地を明確に分けてほしい、生活エリアへの立ち入りを抑制してほしいといった意見があがっており、「コロナ禍の静かな港区が良かった」という声もあった。

マナーやルールの徹底強化を求める意見も極めて多く、多言語でのマナー表示やゴミ箱設置（分別明記）のほか、路上喫煙・ポイ捨ての厳格取締り、罰金・条例整備の強化、呼び込み・白タク取締りなど啓発だけでなく実効性ある取締りへの要望もみられた。また、公道カート（ゴーカート）の走行による事故への不安も多数あった。

オーバーツーリズムへの強い懸念もあり、観光税・入国税・通行税の導入提案や総量規制・人数制限、二重料金の設定を求める声もあり、京都やバルセロナの例を引き合いに警戒を促す意見もあった。

インフラやバリアフリー対応について、バスの増便（特に高輪地域）、Wi-Fi 増設、駅表示・デザイン改善（田町駅など）などがあげられていた。他にもエスカレーター・エレベーターの数が十分ではないとの指摘もあり、在勤者も含めた混雑に対するインフラ改善要望が多かった。